

## 資料編

# 1. つくばみらい市の概況

## (1) つくばみらい市の沿革

本市は豊富な水に恵まれ、江戸時代より長らく広大な水田地帯を特徴とする稲作地域でした。常磐自動車道の開通、関東鉄道の複線化、常総ニュータウン絹の台の街開きなどを経て、平成18年3月には伊奈町と谷和原村が合併し、現在のつくばみらい市が誕生しました。

平成17年8月につくばエクスプレスみらい平駅が開業すると、人口は定着し、全国で最も早いスピードで都市化が進んでいるところです。

### 【つくばみらい市の沿革】

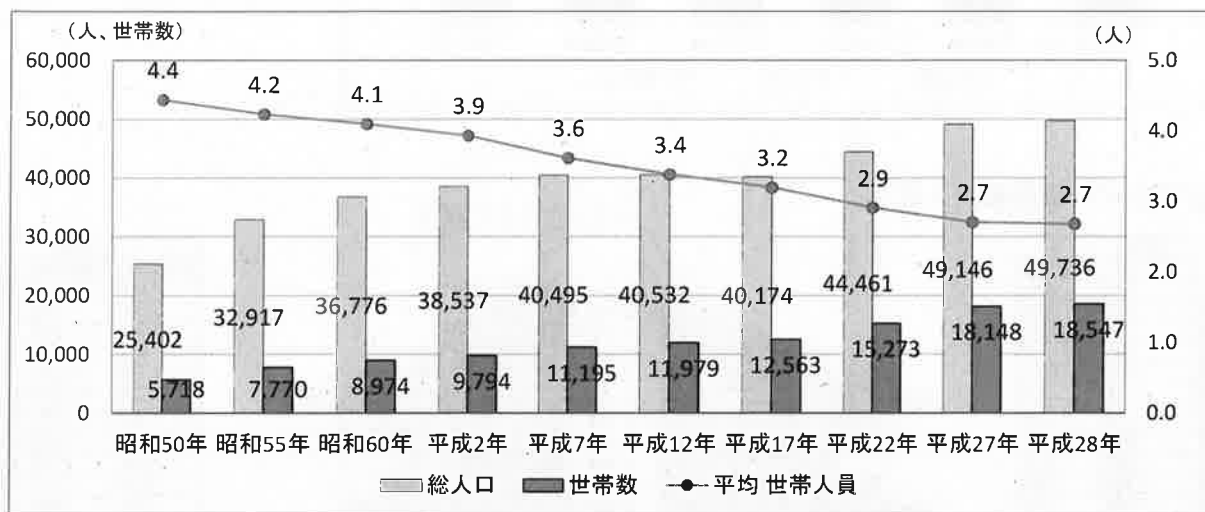
1889年（明治22）4月	市制町村制施行により現在の市域にあたる11村が発足 （筑波郡小張村・豊村・谷井田村・三島村・板橋村・久賀村・鹿島村・十和村・福岡村・小絹村・北相馬郡長崎村）
1896年（明治29）4月	北相馬郡長崎村が筑波郡に編入
1913年（大正2）11月	常総鉄道（現関東鉄道常総線）取手～下館間開業 小絹駅設置
1938年（昭和13）4月	鹿島村・長崎村が合併し、谷原村が発足
1954年（昭和29）7月	三島村・谷井田村・豊村・小張村が合併し、伊奈村が発足
1955年（昭和30）2月	久賀村の一部が伊奈村に編入
1955年（昭和30）3月	谷原村・十和村・福岡村・北相馬郡小絹村が合併し、谷和原村が発足
1955年（昭和30）6月	板橋村が伊奈村に編入
1981年（昭和56）4月	常磐自動車道柏IC～谷田部IC開通、谷和原IC設置
1984年（昭和59）7月	関東鉄道常総線取手～水海道間複線化
1985年（昭和60）4月	伊奈村が町制施行し伊奈町となる
1989年（平成元）7月	常総ニュータウン絹の台街開き
1993年（平成5）4月	谷和原・伊奈下水道組合設立
2005年（平成17）2月	伊奈町・谷和原村合併協議会設置
2005年（平成17）8月	首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス線開業 みらい平地区街開き みらい平駅設置
2006年（平成18）3月	伊奈町と谷和原村が合併・市制施行し、つくばみらい市が発足

## (2) 人口・世帯等

### ①人口・世帯の推移

平成28年6月1日現在、常住人口は49,736人、世帯数は18,547世帯で、1世帯あたり人員は2.7人となっています。推移をみると、昭和50年以降、人口、世帯数ともに増加傾向にあり、平成28年には人口は約2倍、世帯数は約3倍に増加しています。なかでもみらい平地区においては、平成17年に街開きが行われて以降、急速に人口が増加し、現在では11,948人（平成28年4月1日現在 住民基本台帳人口）となっています。一方、1世帯あたりの人口は、昭和50年の4.4人から平成28年では2.7人へと大きく減少し、世帯の小規模化が進んでいることがうかがえます。

#### 【人口及び世帯数の推移】



資料：各年 国勢調査（平成28年は常住人口調査6月1日現在）

### ②年齢別（3区分）人口の推移

年齢3区分による人口及び人口割合は、平成27年では、0～14歳の年少人口が7,225人（14.4%）、15～64歳の生産年齢人口が30,508人（60.9%）、65歳以上の老年人口が12,358人（24.7%）となっています。人口の推移を見ると、年少人口は平成2年以降減少傾向にありましたが、平成22年には増加に転じています。生産年齢人口については平成2年以降横ばいが続いていましたが、平成17年から増加傾向となっています。老年人口については平成2年から3倍近く増加し、高齢化が進行していることが伺えます。

人口ピラミッド（5歳階級別人口）をみると、60代とその子どもの世代である30代が多くなっています。また、40歳後半から50歳前半の働く世代の人口が少なくなっています。

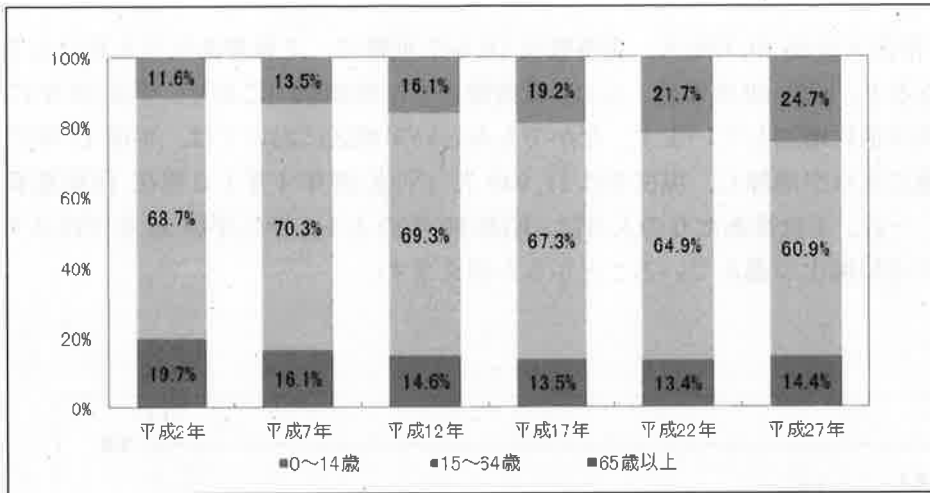
#### 【年齢別3区分人口】

年	区分	総人口	0～14歳			15～64歳			65歳以上		
			人口(人)	増減数	割合(%)	人口(人)	増減数	割合(%)	人口(人)	増減数	割合(%)
平成2年		38,530	7,578	-	19.7%	26,483	-	68.7%	4,469	-	11.6%
平成7年		40,495	6,534	-1,044	16.1%	28,479	1,996	70.3%	5,482	1,013	13.5%
平成12年		40,528	5,906	-628	14.6%	28,079	-400	69.3%	6,543	1,061	16.1%
平成17年		40,174	5,428	-478	13.5%	27,024	-1,055	67.3%	7,722	1,179	19.2%
平成22年		44,442	5,940	512	13.4%	28,846	1,822	64.9%	9,656	1,934	21.7%
平成27年		50,091	7,225	1,285	14.4%	30,508	1,662	60.9%	12,358	2,702	24.7%

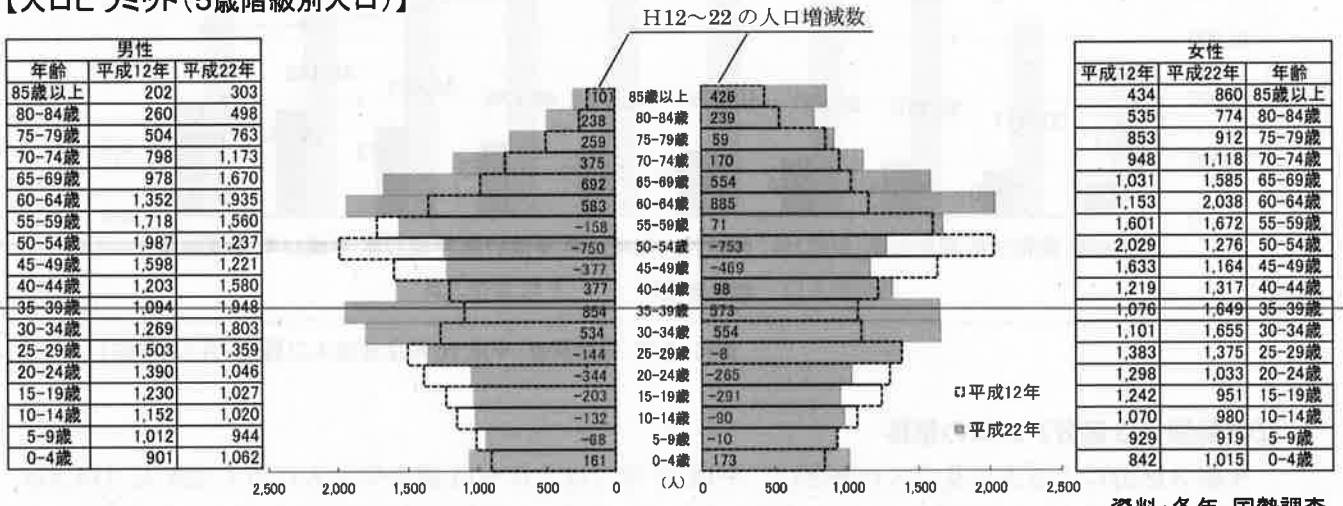
年齢不詳を含まないため、合計はつくばみらい市総人口と一致しない場合がある。

資料：各年 国勢調査（平成27年は住民基本台帳10月1日現在）

【年齢別3区分人口の割合】



【人口ピラミッド(5歳階級別人口)】



## ③地区別人口の推移

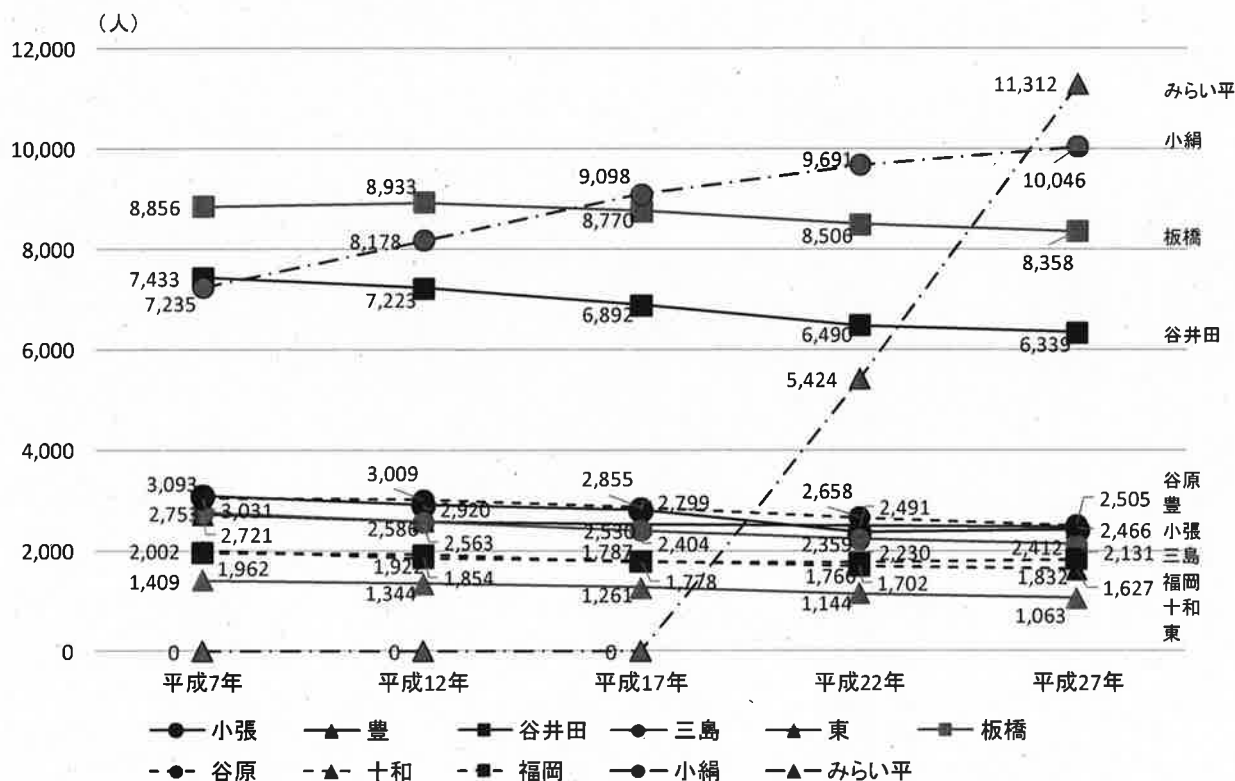
地区別人口では平成27年10月1日現在、みらい平、小絹が10,000人以上と多く、以下、板橋、谷井田、谷原、豊、小張、三島、福岡、十和、東となっています。特に、ニュータウンとして開発した小絹やみらい平は、平成7年以降、一貫して増加しており、なかでもみらい平は、つくばエクスプレスの開業により、みらい平駅周辺に商業施設の出店や大規模マンションの立地が進み、急速な人口増加となっています。

【地区別人口】

(単位:人)

地区名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
小張	3,093	2,920	2,799	2,359	2,412
豊	2,721	2,586	2,530	2,491	2,466
谷井田	7,433	7,223	6,892	6,490	6,339
三島	2,753	2,563	2,404	2,230	2,131
東	1,409	1,344	1,261	1,144	1,063
板橋	8,856	8,933	8,770	8,506	8,358
谷原	3,031	3,009	2,855	2,658	2,505
十和	2,002	1,854	1,787	1,702	1,627
福岡	1,962	1,922	1,778	1,766	1,832
小絹	-	-	-	9,691	10,046
みらい平	-	-	-	5,424	11,312
合計	40,495	40,532	40,174	44,461	50,091

【地区別人口】



資料: 各年 国勢調査(平成27年は住民基本台帳10月1日現在)

#### ④外国人登録者数の推移

外国人登録者数を国別にみると、中国、韓国、フィリピン、ブラジル、タイ、ベトナムが多くを占めています。平成18年以降、中国の登録者数が最多となっています。全体の推移としては、平成18年以降横ばい傾向となっています。

#### 【外国人登録者数(各年の上位5位)】

(単位:人)

	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数
1	中国	107	中国	80	中国	88	中国	113	中国	106
2	ブラジル	73	ブラジル	67	ブラジル	68	韓国	63	韓国	61
3	フィリピン	53	フィリピン	58	韓国	60	フィリピン	55	フィリピン	59
4	韓国	46	韓国	57	フィリピン	56	ブラジル	54	ブラジル	53
5	タイ	33	タイ	29	タイ	28	タイ	27	タイ	23
-	総数	358	合計	354	総数	362	総数	384	総数	384

	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数
1	中国	87	中国	66	中国	71	中国	89	中国	84
2	韓国	56	フィリピン	59	韓国	60	韓国	57	フィリピン	70
3	フィリピン	55	韓国	56	フィリピン	45	フィリピン	65	韓国	58
4	ブラジル	49	ブラジル	49	ブラジル	42	ブラジル	38	ブラジル	49
5	タイ	26	ベトナム	12	ベトナム	14	台湾	17	ベトナム	33
-	総数	358	総数	337	総数	354	総数	378	総数	427

総務省 在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表(平成24年~平成27年)  
すべての年で「その他」を除いている。

資料:平成24年度統計要覧(平成18年~平成23年)

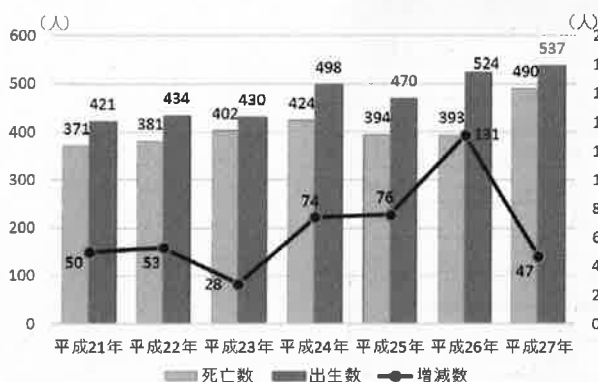
### (3) 人口動態・通勤通学流動

#### ①人口動態（自然・社会動態）の推移

自然動態をみると、出生数は平成21年以降増加傾向が続いています。死亡数は平成26年まで概ね400人前後で推移していましたが平成27年に490人と急激に増加しています。また、自然増減数については、平成21年から出生数が死亡数を一貫して上回っています。

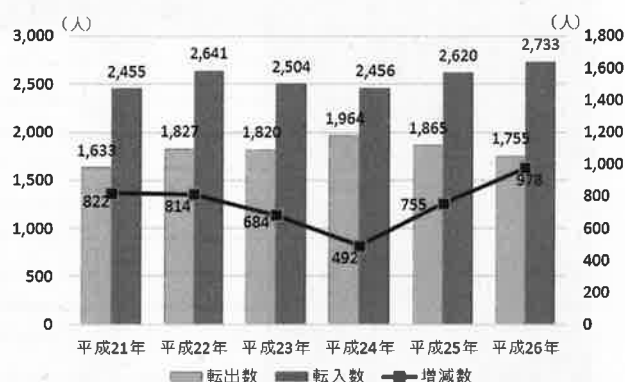
社会動態をみると、転出数は平成24年をピークに減少し、転入数は平成25年から増加に転じています。社会増減数については、転入数が転出数を一貫して上回っており、平成26年は増加数が最も多くなっています。

#### 【自然動態】



資料:人口動態統計

#### 【社会動態】



資料:常住人口調査

#### ②合計特殊出生率

合計特殊出生率<sup>※</sup>は、平成20年から平成24年のベイズ推定値<sup>※</sup>では1.49で、国の1.38、茨城県の1.43よりも高い数値となっています。

#### 【合計特殊出生率(ベイズ推定値)】

	平成5-9年	平成10-14年	平成15-19年	平成20-24年
国	1.42	1.36	1.31	1.38
茨城県	1.55	1.46	1.39	1.43
つくばみらい市	伊奈町	1.34	1.21	1.26
	谷和原村	1.59	1.49	

資料:人口動態保健所・市区町村別統計

※合計特殊出生率：女性が妊娠可能年齢（15歳から49歳）で、各年齢の出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子供を産むのかを推計したもの。

※ベイズ推定値：市の観測データ（人口及び出生数）と、二次医療圏単位で推定した変数とを総合化したもの。小地域の動向を合計特殊出生率や標準化死亡率でみる（特に出生数や死亡数が少ない）場合に、小地域の不安定性を緩和し、安定的な推定を行うにあたって有効な手法である。（二次医療圏：医療法により、都道府県において設定される区域で、主として一般の入院医療を提供する病院の病床の整備を図るべき区域のこと。また、一次医療圏は、一般的な疾病の診断・治療、三次医療圏は、高度で最先端の医療を提供する医療圏をいう。）

### ③通勤通学の流入・流出

通勤通学の流入状況を見ると、つくば市、守谷市、常総市、取手市などが主な流入元の市となっています。それぞれ全体の10%程度の割合となっています。「本市で就業・通学する者」で「他市町村に常住する者」が「本市に常住する者」を少し上回っています。

通勤通学の流出状況についても、つくば市、守谷市、常総市、取手市などが主な流出先となっています。特につくば市への通学者の流出が顕著となっています。「本市に常住する従業・通学する者」で「他市町村で従業・通学する者」が「本市で従業・通学する者」を大きく上回っています。

#### 【通勤通学の流入状況(15歳以上)】

(単位:人)

区分		他市町村からつくばみらい市への流入		
		総数	15歳以上通学者	15歳以上就業者
本市で就業・通学する者		18,392	17,334	1,058
本市に常住する者		7,946	7,456	490
他市町村に常住する者		9,491	9,012	479
茨城県	1 つくば市	1,748	1,671	77
	2 守谷市	1,624	1,429	195
	3 常総市	1,588	1,531	57
	4 取手市	1,219	1,090	129
	5 坂東市	397	391	6
千葉県		692	690	2
埼玉県		322	320	2
東京都		162	162	-

本市で従業・通学する者には、従業地・通学地「不詳」で、本市に常住している者を含む。

資料:国勢調査 平成22年10月1日現在

#### 【通勤通学の流出状況(15歳以上)】

(単位:人)

区分		つくばみらい市から他市町村への流出		
		総数	15歳以上通学者	15歳以上就業者
本市に常住する就業者・通学者		24,078	21,972	2,106
本市で従業・通学する者		7,946	7,456	490
他市町村で従業・通学する者		15,860	14,264	1,596
茨城県	1 つくば市	2,755	2,516	239
	2 守谷市	1,949	1,887	62
	3 常総市	1,749	1,601	148
	4 取手市	1,568	1,364	204
	5 土浦市	457	345	112
東京都		3,228	2,874	354
千葉県		1,484	1,279	205
埼玉県		347	299	48

本市に従業・通学する者には従業地・通学地「不詳」を含む。  
他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

資料:国勢調査 平成22年10月1日現在



## ④近隣市（隣接）の人口・世帯及び年少人口の推移

本市と隣接する市町村の人口は、いずれも本市人口を上回っており、特に平成22年から平成27年の増減率で見ると、総人口及び年少人口では、つくば市、牛久市、守谷市が増加しています。その中でも本市は最も高い増加率となっています。また、世帯数では全市で増加しており、本市の増加率が最も高くなっています。

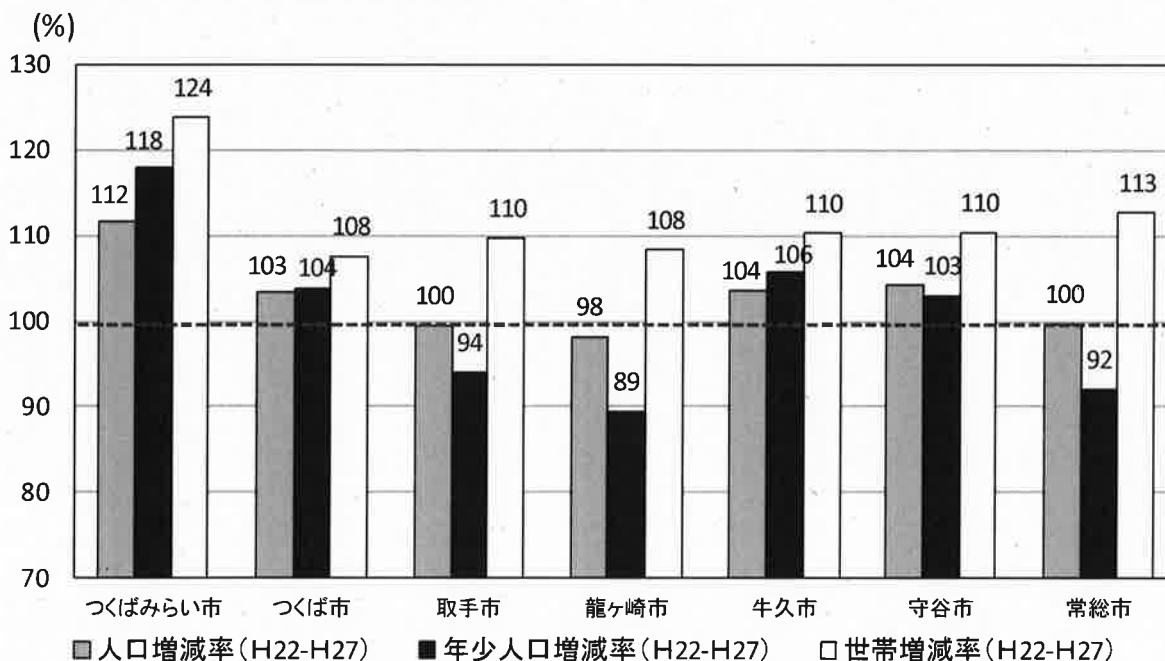
## 【近隣市人口・年少人口・世帯数の増減率】

	総人口		年少人口(0歳-14歳)		世帯数	
	(人)	増減率 (H22-H27)	(人)	増減率 (H22-H27)	(世帯)	増減率 (H22-H27)
つくばみらい市	44,461	111.7	6,018	118.0	15,273	123.8
つくば市	214,590	103.4	32,225	103.8	87,477	107.6
取手市	109,651	99.5	12,623	94.0	42,614	109.7
龍ヶ崎市	80,334	98.2	11,118	89.5	30,092	108.3
牛久市	81,684	103.5	11,003	105.8	31,569	110.3
守谷市	62,482	104.3	10,142	103.0	22,854	110.4
常総市	65,320	99.7	8,873	92.1	20,685	112.7

総人口・世帯数について、常総市は8月1日現在  
 年少人口について、本市、龍ヶ崎市は平成27年4月1日現在、  
 牛久市は平成27年8月1日現在、  
 つくば市、常総市は平成26年10月1日現在

資料：平成22年は国勢調査（平成27年は住民基本台帳7月1日現在）

## 【近隣市人口・年少人口・世帯数の増減率】



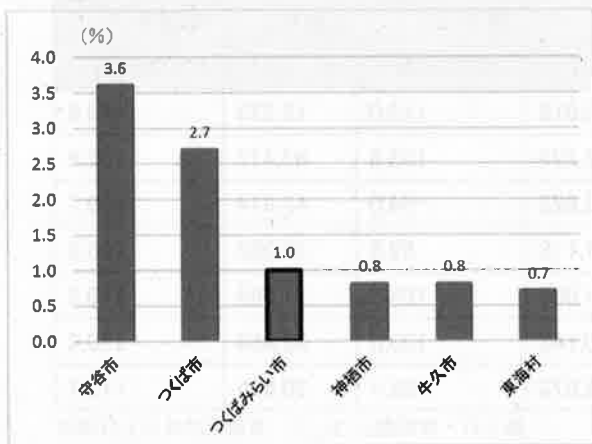
資料：国勢調査 平成22年、平成27年

### ⑤近隣市（隣接）の人口動態の推移

本市の自然増加率\*（人口千対）は1.0（守谷市3.6，つくば市2.7，神栖市0.8，牛久市0.8，東海村0.7）で、マイナスとなっている市町村が多くある中、茨城県内でも高い数値であるといえます。

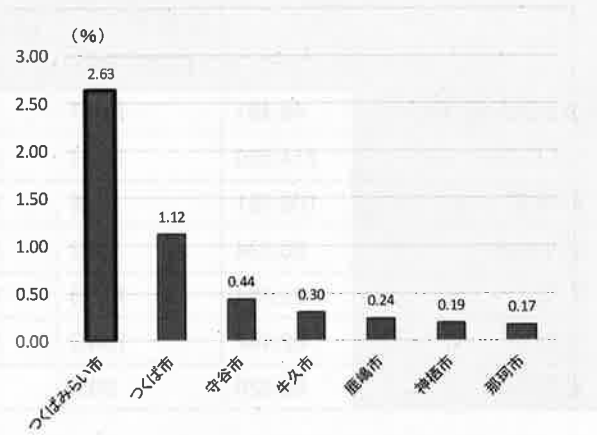
社会増増加率\*については、2.63（つくば市1.12，守谷市0.44，牛久市0.30，鹿嶋0.24，神栖市0.19，那珂市0.17）で、マイナスとなる市町村が多くある中、茨城県内で最も高く突出した割合となっています。

【自然増加率】



資料：人口動態統計 平成 27 年

【社会増加率】



資料：常住人口調査 平成 27 年

## 2. つくばみらい市の教育の現状（学校教育・生涯学習）

### （1）学校教育

#### ① 幼児教育の状況

幼稚園・認定こども園は、平成19年に4ヶ所であったものが、みらい平地区を中心とした人口増加にともなって、平成20年に5ヶ所、平成27年には6ヶ所、平成28年には8ヶ所となり、合計の定員数は885人から1,038人に増加しています。認定こども園は、一部の園で定員数を園児数がやや上回っている状況にあります。幼稚園については、定員割れとなっていますが、わかさ幼稚園と谷和原幼稚園の3歳児において、毎年入園希望者が定員を上回っている状況にあり抽選を行っています。

#### 【幼稚園施設数】

単位：園

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
市内施設数	4	4	5	5	5	5	5	5	5	6	8

#### 【幼稚園別定員数】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
すみれ幼稚園	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
わかさ幼稚園	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240
谷和原幼稚園	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
絹ふたば文化幼稚園	305	305	305	305	305	305	305	305	305	—	—
認定こども園 ふたばランド	—	—	70	70	70	70	70	70	70	70	70
富士見ヶ丘 認定こども園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	35
認定こども園 絹ふたば文化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	305	305
みらい認定 こども園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24
認定こども園 ルンビニー学園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24
定員合計	885	885	955	955	955	955	955	955	955	990	1,038

#### 【園児数(施設別)】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
すみれ幼稚園	151	144	131	130	123	127	121	124	112	104	94
わかさ幼稚園	187	202	219	217	218	246	235	221	215	231	211
谷和原幼稚園	171	165	155	149	170	190	191	190	179	169	173
絹ふたば文化幼稚園	333	344	342	341	347	338	341	340	330	—	—
認定こども園 ふたばランド	—	—	28	53	74	75	80	85	82	84	81
富士見ヶ丘 認定こども園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	26
認定こども園 絹ふたば文化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	329	324
みらい認定 こども園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
認定こども園 ルンビニー学園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23
園児合計	842	855	875	890	932	976	968	960	918	964	934

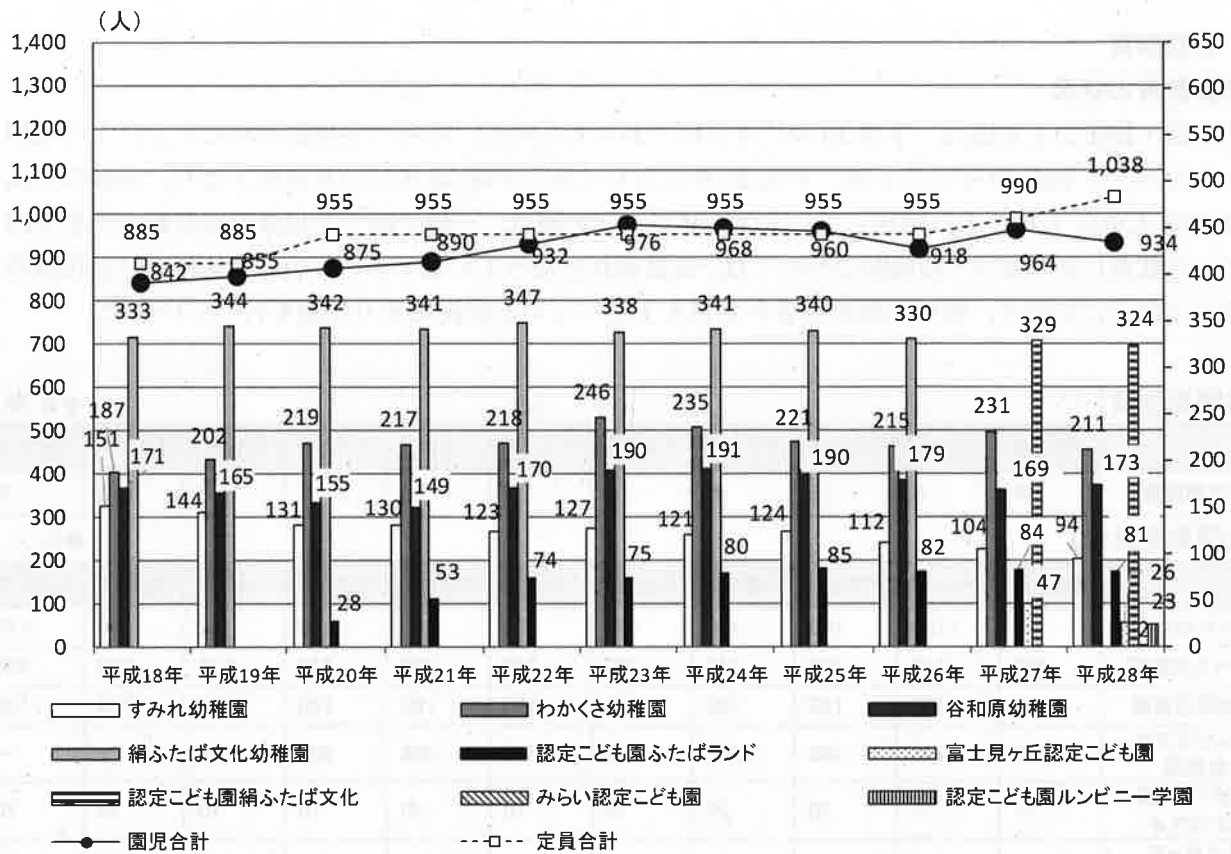
絹ふたば文化幼稚園は、平成26年度まで私立幼稚園、平成27年度以降は認定こども園絹ふたば文化として幼稚園型認定こども園に移行している。

資料：学校基本調査 各年5月1日現在

※自然増加率：地域内における出生数と死亡数の差の割合のこと。

※社会増加率：地域内における他地域からの転入、あるいは他地域への転出数の差の割合のこと。

【施設別園児数及び定員数の推移】



資料: 学校基本調査 各年5月1日現在

②公立幼稚園の施設の状況

公立幼稚園の施設の状況については、3つの幼稚園のうち、谷和原幼稚園のみ耐震基準適合となっており、わかくさ幼稚園とすみれ幼稚園では、耐震診断の結果を踏まえ、耐震対策を施す必要があります。

【公立幼稚園施設の状況(建物)】

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(m <sup>2</sup> )	耐震化状況
わかくさ幼稚園	園舎	木造	1	S26.10	658	
すみれ幼稚園	園舎	S	1	S55.1	1,077	
谷和原幼稚園	園舎	S	2	H23.3	1,063	耐震基準適合

耐震診断の対象は、昭和56年以前の旧耐震基準で設計された建築物で、階数が2階以上又は床面積が200㎡を超えるもの(木造以外の場合)とされている。「建築物の耐震改修に関する法律(耐震改修促進法)」より

資料: 学校教育課 平成28年3月31日現在

### ③小中学校児童生徒数の推移

小学校は、つくばエクスプレス線沿線開発のみらい平地区における児童の急速な増加により、平成27年につくばみらい市立陽光台小学校が開校し、11校（公立）となりました。

一方、平成26年までみらい平地区の児童を受け入れていた小張小学校や谷原小学校、十和小学校、福岡小学校の4校では児童数が大幅に減少しています。その他の既存地区においても、少子化などの影響により児童の減少傾向が続いています。なかでも平成28年に東小学校、三島小学校の2校については、複式学級※が発生している状況となっています。

このように、複式学級である東小学校や三島小学校に対し、陽光台小学校は33学級となっており、教育環境の格差が本市の大きな課題となっています。

また、守谷市との境に平成27年に開智望小学校（将来的には小中高一貫）が開校しています。

中学校については、市内に4校あり、生徒数がやや減少傾向にあります。小学校の状況から今後は増加に転じるものと考えられます。みらい平地区の生徒は現在、谷和原中学校と伊奈中学校の2校の選択制となっており、谷和原中学校では平成22年に増加に転じています。

#### 【小学校数】

単位：校

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
小学校数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	12

#### 【小学校 児童数(学校別)】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
小張小学校	123	150	175	213	291	362	411	401	392	92	75
谷井田小学校	350	343	338	316	309	314	308	293	286	289	271
豊小学校	125	119	132	134	121	119	116	116	115	115	121
三島小学校	123	113	112	102	95	80	70	71	72	63	61
板橋小学校	500	503	516	493	491	464	450	410	384	359	367
東小学校	85	71	71	60	53	46	52	47	47	44	45
谷原小学校	144	143	148	152	160	149	189	257	321	117	98
十和小学校	104	106	102	104	94	86	93	122	166	67	71
福岡小学校	106	103	95	81	78	61	66	91	138	69	62
小絹小学校	708	700	687	668	644	634	595	597	582	568	544
陽光台小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	851	1,042
開智望小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69	138
合計	2,368	2,351	2,376	2,323	2,336	2,315	2,350	2,405	2,503	2,703	2,895

開智望小学校は平成27年に開校し、平成27年度は1、2年生、平成28年度は1、2、3年生のみとなっている。

資料：学校基本調査 各年5月1日現在

※複式学級：小中学校において2つ以上の学年の児童、生徒を1つに編制した学級のこと。

【小学校の規模】

学校規模分類	学級数		小学校(計11校)	
	複式学級※	学校数		
過小規模校	6学級以下	2校	東小学校(4)	三島小学校(5)
		5校	小張小学校(6)	豊小学校(6)
			谷原小学校(6)	十和小学校(6)
			福岡小学校(6)	
小規模校	7~11学級	該当なし	—	
標準規模校	12~18学級※	3校	谷井田小学校(12)	板橋小学校(13)
			小絹小学校(18)	
大規模校	25~30学級	該当なし	—	
過大規模校	30学級以上	1校	陽光台小学校(33)	

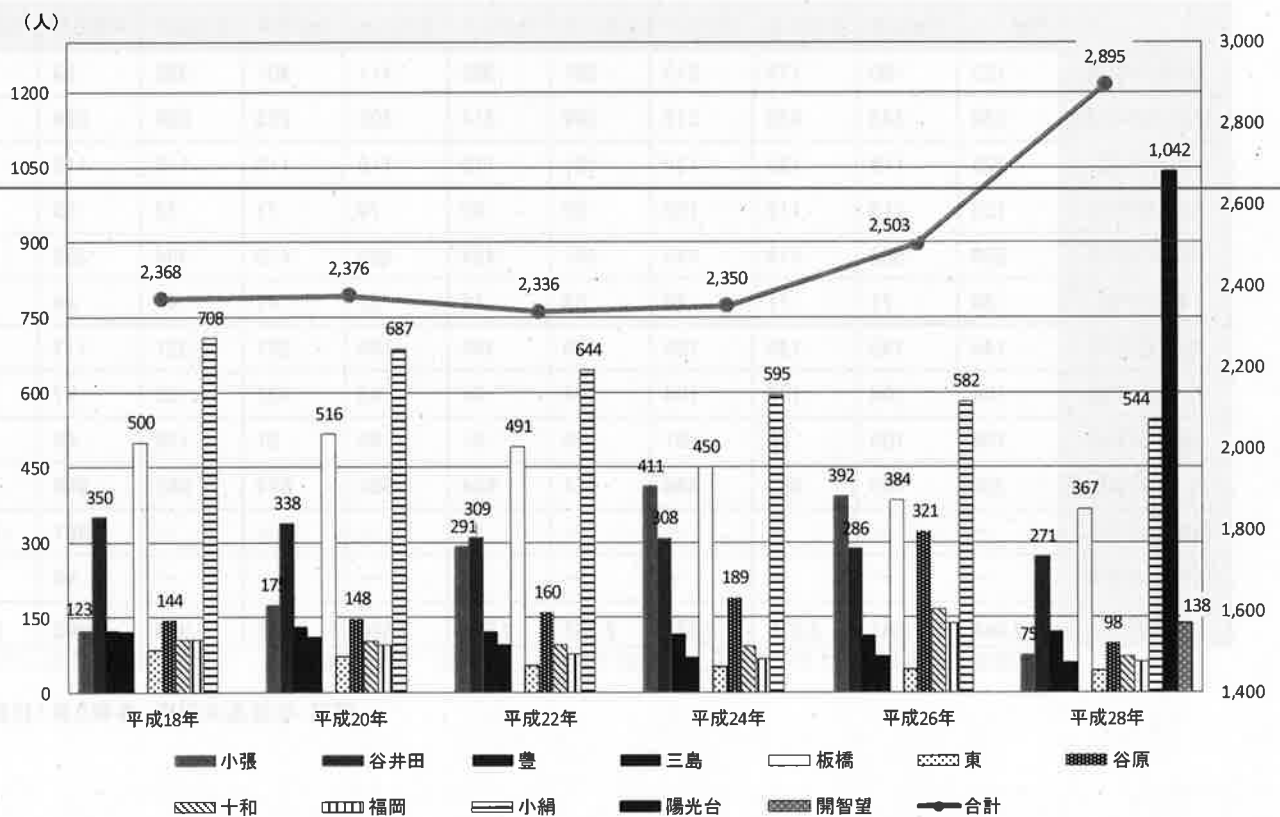
標準規模校は、統合の場合、24学級までが標準規模校

( )内の数は、平成27年5月1日現在の学級数(特別支援学級を除く)

過小規模校から過大規模校の分類は、文部省教育助成局施設助成課「過大規模校分離の促進」『教育と施設』11号より

資料: 学校基本調査 平成28年5月1日現在

【小学校 児童数(学校別)】



資料: 学校基本調査 各年5月1日現在

## 【中学校数】

単位：校

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
中学校数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

## 【中学校 生徒数(学年別)】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全生徒	1,172	1,183	1,140	1,138	1,135	1,165	1,129	1,140	1,106	1,102	1,092
1年生	407	381	350	399	375	391	364	381	363	357	373
2年生	397	404	385	355	401	376	390	365	381	362	355
3年生	368	398	405	384	359	398	375	394	362	383	364

## 【中学校 生徒数(学校別)】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
伊奈中学校	358	377	339	363	338	355	325	323	305	295	277
伊奈東中学校	280	302	301	293	283	293	266	269	256	253	237
谷和原中学校	235	214	205	179	186	191	211	232	244	262	299
小絹中学校	299	290	295	303	328	326	327	316	301	292	279

資料：学校基本調査 各年5月1日現在

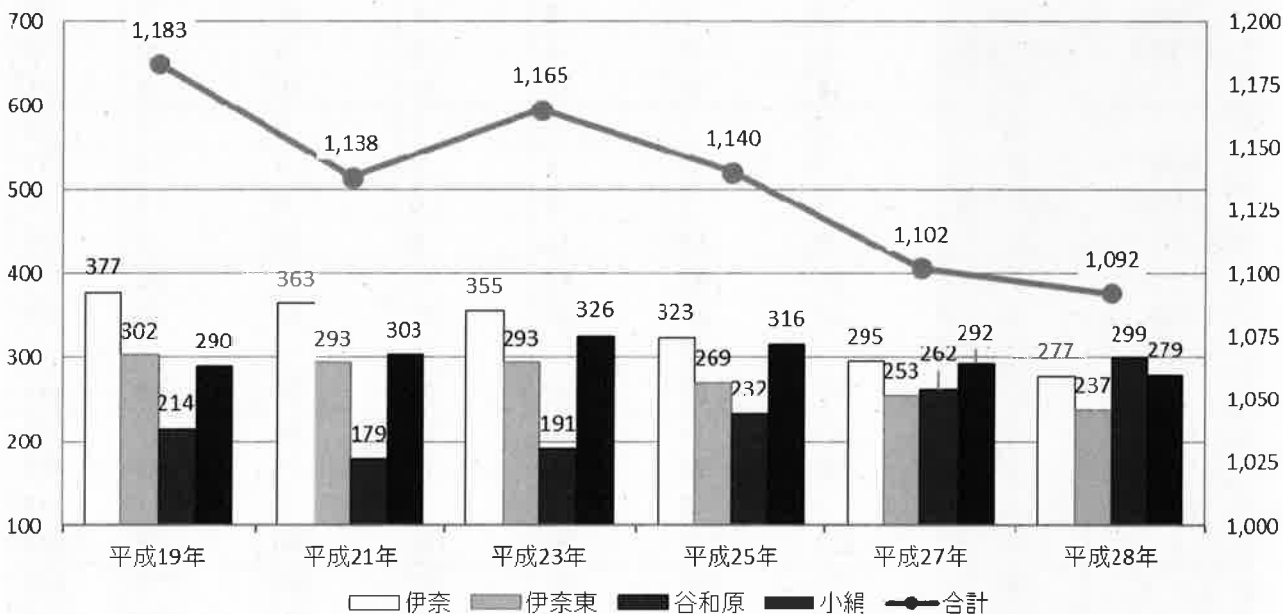
## 【中学校の規模】

学校規模分類	学級数	中学校(計4校)	
		学校数	
過小規模校	6学級以下	該当なし	—
小規模校	7～11学級	4校	伊奈中学校(9) 伊奈東中学校(7) 谷和原中学校(10) 小絹中学校(9)
標準規模校	12～18学級	該当なし	—
大規模校	25～30学級		
過大規模校	30学級以上	該当なし	—

資料：学校基本調査 平成28年5月1日現在

## 【中学校 生徒数(学校別)】

(人)



資料：学校基本調査 各年5月1日現在

【小学校の状況】

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計
小張 小学校	男	7	7	8	6	7	7	42
	女	4	6	4	4	6	9	33
	内特別支援	1	0	1	0	0	0	2
	計	11	13	12	10	13	16	75
谷井田 小学校	男	19	26	22	25	22	27	141
	女	23	16	22	26	22	21	130
	内特別支援	1	0	3	0	1	0	5
	計	42	42	44	51	44	48	271
豊 小学校	男	18	12	12	9	11	6	68
	女	6	9	12	10	4	12	53
	内特別支援	0	0	0	1	0	1	2
	計	24	21	24	19	15	18	121
三島 小学校	男	7	3	5	9	7	6	37
	女	2	5	3	7	4	3	24
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	8	8	16	11	9	61
板橋 小学校	男	33	23	29	28	36	36	185
	女	39	20	38	26	27	32	182
	内特別支援	0	1	7	1	5	1	15
	計	72	43	67	54	63	68	367
東 小学校	男	6	3	5	0	5	2	21
	女	4	3	4	2	9	2	24
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	6	9	2	14	4	45
谷原 小学校	男	4	12	8	12	9	7	52
	女	6	7	8	5	8	12	46
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	19	16	17	17	19	98
十和 小学校	男	7	4	7	7	9	4	38
	女	7	4	6	4	10	2	33
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	14	8	13	11	19	6	71
福岡 小学校	男	2	7	7	2	6	1	25
	女	7	7	4	6	9	4	37
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	14	11	8	15	5	62
小絹 小学校	男	37	45	42	49	46	60	279
	女	40	42	40	47	47	49	265
	内特別支援	2	4	0	3	2	7	18
	計	77	87	82	96	93	109	544
陽光台 小学校	男	121	115	96	91	68	56	547
	女	106	98	102	71	75	43	495
	内特別支援	1	2	9	1	0	1	14
	計	227	213	198	162	143	99	1,042
合計	男	261	257	241	238	226	212	1,435
	女	244	217	243	208	221	189	1,322
	内特別支援	5	7	20	6	8	10	56
	計	505	474	484	446	447	401	2,757

資料：学校基本調査 平成28年5月1日現在



## 【中学校の状況】

		第1学年	第2学年	第3学年	合計
伊奈 中学校	男	52	43	54	149
	女	41	49	38	128
	内特別支援	0	3	3	6
	計	93	32	92	277
伊奈東 中学校	男	39	36	48	123
	女	39	34	41	114
	内特別支援	0	2	4	6
	計	78	70	89	237
谷和原 中学校	男	60	47	42	149
	女	55	51	44	150
	内特別支援	0	3	1	4
	計	115	98	86	299
小絹 中学校	男	47	42	48	137
	女	40	53	49	142
	内特別支援	3	0	2	5
	計	87	95	97	279
合計	男	198	168	192	558
	女	175	187	172	534
	内特別支援	3	8	10	21
	計	373	355	364	1,092

資料:学校基本調査 平成 28 年5月1日現在

#### ④小中学校の施設の状況

小中学校の施設の状況については、全ての施設で耐震対策が施されています。

##### 【小学校施設の状況(建物)】

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積 (㎡)	耐震化状況
小張小学校	校舎	RC	3	S55.3	2,682	H23 改修済
	体育館	S	2	S53.2	764	H16 改修済
谷井田小学校	特別教室棟(1階)	RC	2	S50.2	554	H26 改修済
	体育館(2階)	S	2	S50.2	435	H14 改修済
	管理教室棟	RC	3	S51.3	1,721	H26 改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,425	耐震基準適合
	教室棟	RC	4	S57.3	622	耐震基準適合
	体育館	S	2	S58.2	972	耐震基準適合
豊小学校	校舎	RC	3	S53.12	2,396	H24 改修済
	体育館	S	2	S52.3	754	H20 改修済
三島小学校	校舎	RC	3	S54.3	2,389	H27 改修済
	体育館	S	2	S55.2	754	H18 改修済
板橋小学校	教室棟	RC	2	S39.3	501	耐震基準適合
	教室棟	RC	2	S39.7	479	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	S	2	S61.9	308	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	S49.1	929	H22 改修済
	教室棟(廊下)	S	3	S61.9	251	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	S54.3	1,274	H22 改修済
	教室棟	RC	3	S57.3	1,079	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.2	976	H12 改修済
東小学校	校舎	RC	3	S56.3	1,758	H26 改修済
	体育館	S	2	S57.3	715	耐震基準適合
谷原小学校	管理特別教室棟	RC	3	S59.3	2,060	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H3.2	297	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H3.2	1	耐震基準適合
	教室棟(EV)	RC	3	H13.11	30	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H18 改修済
十和小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.3	773	H19 改修済
福岡小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H14 改修済
小綱小学校	管理教室	RC	2	S48.2	1,234	H10 改修済
	管理教室棟	RC	3	S61.3	1,884	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H5.3	11	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H5.3	1,373	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	784	H14 改修済
陽光台小学校	校舎	R・W	2	H27.2	9,173	耐震基準適合
	体育館	R	2	H27.3	1,437	耐震基準適合

資料:学校教育課 平成28年5月31日現在

## 【小学校施設の状況(建物)】

学校名	校地面積(㎡)		校舎延床面積(㎡)	教室数	
		運動場面積(㎡)		普通教室数(収容人数)	特別教室数
小張小学校	26,516	15,377	2,715	14 (490)	5
谷井田小学校	21,597	12,406	4,427	22 (770)	6
豊小学校	11,737	5,898	2,445	10 (350)	6
三島小学校	12,567	5,888	2,484	8 (280)	6
板橋小学校	22,699	10,618	4,964	27 (945)	6
東小学校	13,993	5,997	1,949	7 (245)	5
谷原小学校	12,066	5,796	2,449	10 (350)	6
十和小学校	11,870	4,243	2,027	7 (245)	6
福岡小学校	9,553	4,293	2,005	7 (245)	6
小綱小学校	29,822	12,770	4,804	26 (910)	6
陽光台小学校	25,001	7,876	9,557	32 (1,120)	8*
富士見ヶ丘小学校	29,046	11,336	7,780	26 (910)	9*

陽光台小学校及び富士見ヶ丘小学校の特別教室には、理科室、音楽室、図画工作室、家庭科室、メディアセンター（コンピューター室、図書室）以外に視聴覚室、地域サポートセンター、多目的室等を含める。

資料:学校教育課 平成28年5月31日現在

## 【中学校施設の状況】

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(㎡)	耐震化状況
伊奈中学校	管理教室棟	RC	3	S48.3	3,002	H27改修済
	特別室棟	RC	3	S48.9	727	H27改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,939	H27改修済
	渡り廊下1	RC	2	S55.3	70	H27改修済
	渡り廊下2	RC	3	S48.9	67	H28改修済
	体育館	S	2	S46.12	1,222	H9改修済
伊奈東中学校	管理教室棟	RC	3	S60.3	4,950	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	1	S60.3	225	耐震基準適合
	体育館	RC	1	S60.3	1,171	耐震基準適合
谷和原中学校	教室棟	RC	3	S44.5	1,325	H25改修済
	管理棟	RC	3	S44.10	1,570	H25改修済
	技術棟	S	1	H26.3	276	耐震基準適合
	体育館	RC	2	H12.8	1,455	耐震基準適合
小綱中学校	管理教室棟	RC	3	H6.3	1,997	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	H6.3	669	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	3	H6.3	1,638	耐震基準適合
	技術棟	RC	1	H6.3	259	耐震基準適合
	体育館	RC	1	H6.3	1,206	耐震基準適合

資料:学校教育課 平成28年5月31日現在

## ⑤義務教育施設の適正配置

つくばみらい市における、子どもたちにとってより良い教育環境の整備・充実を図るため、今後の「義務教育施設の適正配置について」をつくばみらい市義務教育施設適正配置審議会に諮問し、以下の答申をいただいています。

### 【つくばみらい市内の義務教育施設の適正配置に関する検討の流れ】

平成 23 年  
9 月 28 日

#### 小中学校の学級数や児童数の適正規模に関する検討(小学校)

・「つくばみらい市内の義務教育施設の適正配置について」の答申をいただく。

小中学校の適正規模を、小学校については、各学年がクラス替えによる交流が図られるよう1学年2学級(計12学級)以上、また、中学校については、すべての教科の担任が配置できる1学年3学級以上が、将来を見据えた理想的な学校規模であると考え。

しかし、学級規模が適正であれば地域の実情を考慮し、単学級での存続も認めることも考えられる。「学級規模が適正」とは、1学級あたり20人以上と考える。

ただし、①複式学級が2つ以上、②20人以下となる学年が3学年以上となり地域住民の理解が得られている、③地域住民の多数が統合を望み市に要望がもたらされている、のいずれかに該当する場合は、統合することが望ましいと考える。

平成 26 年  
8 月 12 日

#### みらい平地区における2校目の小学校建設に関する検討

・「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について(第1次答申)」をいただく。

みらい平地区における急激な児童数に対応するため、みらい平地区に2校目となる小学校を早急に設置する必要がある。

平成 27 年  
11 月 4 日

#### つくばみらい市内の小中学校の再編に関する検討

・「つくばみらい市義務教育施設の適正配置について(第2次答申)」をいただく。

児童数が増加する地区と減少する地区が混在し、不均衡な教育環境を解消するために、小学校を6校へ、中学校は既存の4中学校を前提とした再編とする。

##### (1) つくばみらい市内の小学校の配置について

子どもたちにとってより良い教育環境を実現していくため、地域のバランスを考慮し、以下のように、市内の小学校を6校としていくことが望ましいと考える。

- ① 小張小学校, 陽光台小学校の2校を1校にする。
- ② 谷井田小学校, 豊小学校, 三島小学校の3校を1校にする。
- ③ 板橋小学校, 東小学校の2校を1校にする。
- ④ 谷原小学校, 十和小学校, 福岡小学校の3校を1校にする。
- ⑤ 小絹小学校は現状のままとする。
- ⑥ 富士見ヶ丘小学校を新規に設置する。

##### (2) つくばみらい市内の中学校の配置について

市内の中学校については、義務教育9年間を見通した教育活動の展開を長期的に目指しながら、現時点においては、既存の4中学校を前提として、小学校の適正配置を考えてきた。そのため、みらい平地区内の中学校については、土地利用計画により中学校用地確保されていることから、今後も引き続き多角的に総合的に検討していくことが望ましいと考える。

【教育施設配置図】



## ⑥高等学校の現況

つくばみらい市には、公立高等学校が1校設置されています。生徒数は、学年別、全生徒数ともに、ほぼ横ばいで推移しています。

### 【高等学校数】

単位：校

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
伊奈高等学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

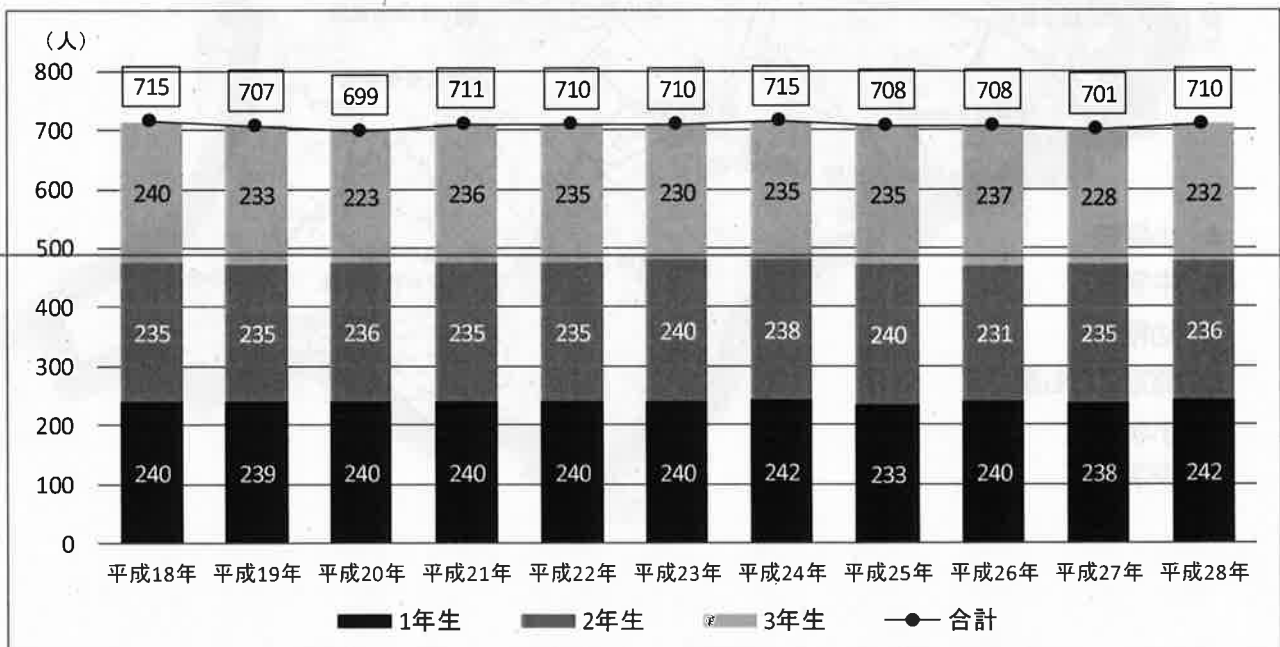
### 【生徒数(学年別)】

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全生徒	715	707	699	711	710	710	715	708	708	701	710
1年生	240	239	240	240	240	240	242	233	240	238	242
2年生	235	235	236	235	235	240	238	240	231	235	236
3年生	240	233	223	236	235	230	235	235	237	228	232

資料：学校基本調査結果報告書 各年5月1日現在

### 【生徒数(学年別)】



資料：学校基本調査結果報告書 各年5月1日現在

## (2) 生涯学習

### ① 青少年の健全育成

青少年育成に家庭，地域社会，学校，行政が相互に協力し合い，青少年の健全育成に取り組める体制づくりを目指し，青少年育成つくばみらい市民会議及び青少年相談員連絡協議会が中心となり事業を実施しています。また，県及び土浦地区連絡協議会の青少年育成研修会等に参加し，各地区の事業活動の情報交換を行い，相互に連携を強め，より充実した育成事業を行っています。

#### 【主な団体】

関係団体名	構成人数	備考	活動状況
青少年育成つくばみらい市民会議	賛同する個人，市内の各種団体および機関等	数回／年	本部による青少年の健全育成活動
青少年育成つくばみらい市民会議支部会	10 支部による組織	数回／年	各支部による青少年の健全育成活動
土浦地区青少年育成市民会議連絡会	5 市による組織	数回／年	青少年の健全育成活動に関する研修会及び意見・情報交換会
つくばみらい市青少年相談員連絡協議会	18 名	約 20 回／年	青色防犯パトロール
第 6 ブロック 青少年相談員連絡協議会	10 市町村による組織	数回／年	青少年の非行・被害防止に関する青少年相談員の資質向上を図る研修会等

#### 【主な取組(平成 27 年度)】

取組	取組内容
青色防犯パトロール活動	夏休み期間(夜間巡回)や下校時間帯に防犯パトロールを実施しました。
薬物乱用防止啓発活動	7 月～8 月，市内の学校や児童クラブ等の公共施設において啓発品の配布，教育委員会庁舎前でのぼり旗の掲出を実施しました。
ふれあい交流事業	10 月下旬，市内の小学生 5・6 年生を対象に真岡鉄道 SL 乗車・益子焼絵付け体験を通して児童同士の交流活動を実施しました。
親が変われば，子どもも変わる運動	11 月中旬，きらくやまふれあいの丘世代ふれあいの館において，NHK 学園講師の山岸弘子氏を講師に招き，「言葉が子どもを変える」をテーマに言葉のもつ力や子どもとのコミュニケーションのあり方などの講演会を実施しました。
演劇鑑賞会	道徳教育の一環として，親子が感動を共有し，心かよわせる場となることを目的に，2 月下旬，きらくやまふれあいの丘世代ふれあいの館において，「とべないホテル」を開催しました。



演劇鑑賞会(とべないホテル)



ふれあい交流活動(益子焼絵付け体験)

資料: 生涯学習課 平成 27 年度

## ②家庭教育学級事業

家庭教育学級の状況は、市立幼稚園年中児及び小中学校1年生の保護者を対象に開設されており、平成23年度以降平均約980人が参加しています。主な取組として、各学級での開級式や学級活動、事業説明会、合同学習会、家庭教育学級会議、合同閉級式があります。

### 【家庭教育学級の状況】

	開設学級数	参加人数(人)
平成23年度	17	949
平成24年度	17	972
平成25年度	17	980
平成26年度	17	1,012
平成27年度	18	988

資料:生涯学習課

### 【主な取組(平成27年度)】

時期	事業名	概要
5月	事業説明会	家庭教育学級の進め方等についての説明
6月上旬～7月下旬	開級式(各学級)	
開級式後～1月	学級活動(各学級)	テーマ学習3回以上(概ね6時間以上)、人権に関する学習1時間以上
9月	対象別合同学習会(中学校)	中学校の学級生対象の講演会
10月	対象別合同学習会(小学校)	小学校の学級生対象の講演会
11月	対象別合同学習会(幼稚園)	幼稚園の学級生対象の講演会
1月	家庭教育学級会議	合同閉級式、会計決算等についての説明
2月	合同閉級式	代表学級の実施概要報告、講演会

資料:生涯学習課 平成27年度



### ③公民館・コミュニティセンター・図書館の状況

#### ③-1 公民館

学習活動の拠点として、各地域に5ヶ所(分館3ヶ所を含む)設置され、文化活動を展開しています。

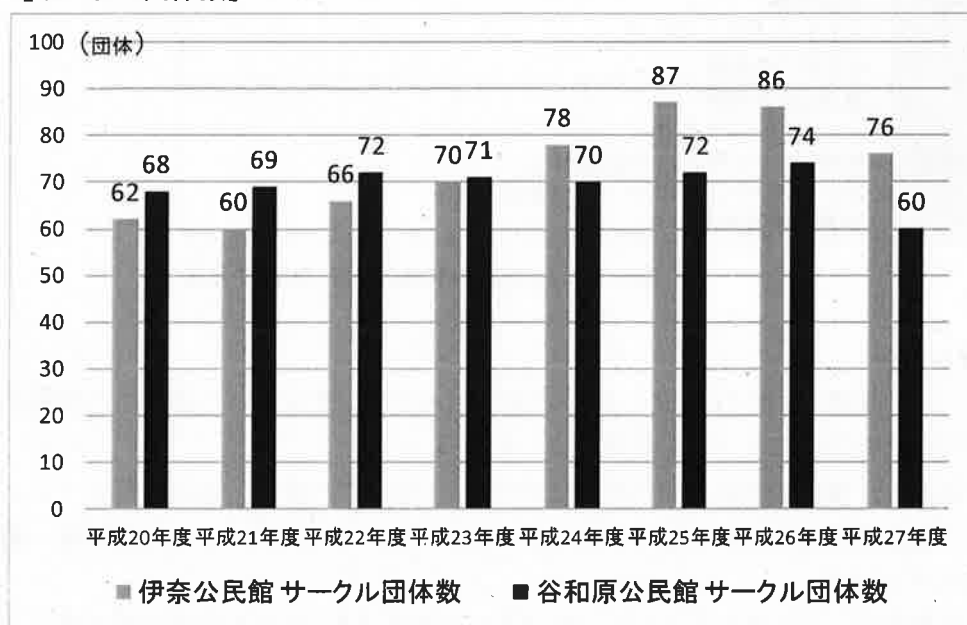
文化サークル活動については、伊奈公民館、谷和原公民館ともに増加傾向にありましたが、平成27年度から減少に転じています。

講座(定期講座、1日講座)の講座数を見ると、平成23年以降、定期講座では横ばいが、1日講座では減少傾向が続いています。

#### 【施設の状況】

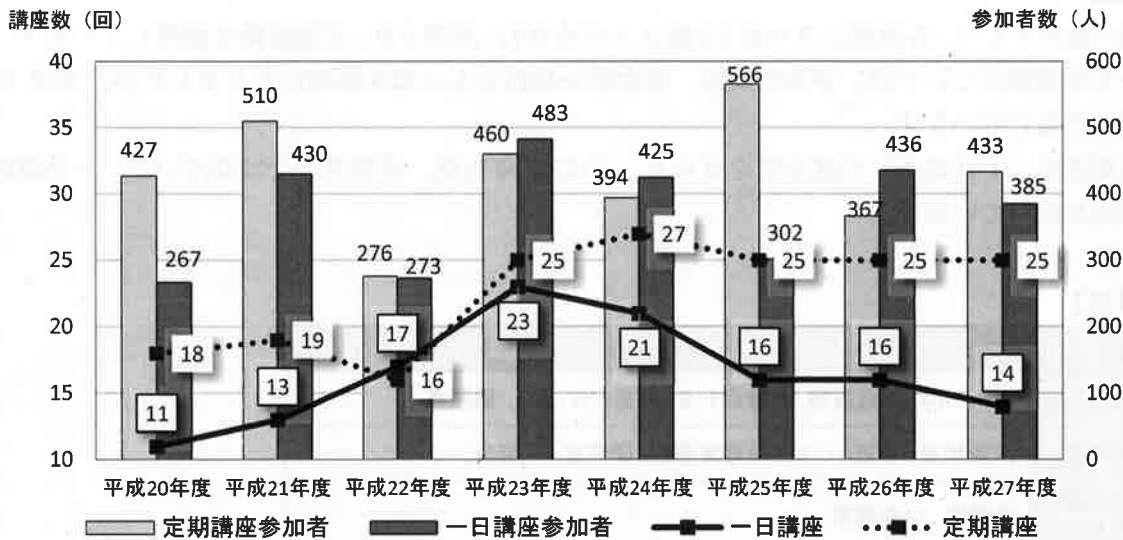
施設名	施設内容
伊奈公民館	大ホール, 小会議室, 会議室1・2, 和室(1F・2F), 調理室
谷和原公民館	大会議室, 和室(1・2), 調理実習室, 研修室, 陶芸舎
谷和原公民館 (谷原分館)	会議室, 小会議室
谷和原公民館 (十和分館)	会議室, 会議室(和室)
谷和原公民館 (福岡分館)	会議室, 会議室(和室), 調理室

#### 【サークル団体数】



資料: 伊奈公民館・谷和原公民館 平成27年度

## 【講座数と参加者数の推移】



### 【主な定期講座】

施設名	定期講座
伊奈公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の和菓子を作ってみよう</li> <li>・初夏の寄せ植え</li> <li>・健康体操</li> <li>・ノルディックウォーキング</li> <li>・はじめての手話</li> </ul>
谷和原公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波山と万葉集</li> <li>・シェイプアップサルサ</li> <li>・和布で作ってみよう つるし飾り</li> <li>・おいしく食べてダイエット タニタ食堂に学ぶ</li> <li>・歌舞伎鑑賞教室</li> </ul>

資料:伊奈公民館・谷和原公民館 平成27年度

### ③-2 コミュニティセンター

コミュニティセンターは、平成26年11月に「みらい平コミュニティセンター」が新たに開館しました。本市にこれまでなかった音楽スタジオを設置しました。

各施設の利用状況を見ると、多目的室の年間利用率は約80%となっています。みらい平コミュニティセンターの一部を除く研修室及び会議室の利用率は60%以上となっています。一方、調理室・調理実習室は30%以下となっています。

一日あたりの利用団体数では、谷井田コミュニティセンターの和室(大)が3.8団体と最も多くなっており、その他の施設についても多目的室・会議室などでは1.5団体程度となっています。施設全体では、一回あたりの利用人数は12.1人、一日あたりの利用団体数は1.5回となっています。

### 【施設の内容】

施設名	施設内容
谷井田コミュニティセンター	多目的室, 研修室, 調理室, 和室(大), 和室(小)
小絹コミュニティセンター	多目的室, 会議室, 和室(1), 和室(2)
板橋コミュニティセンター	多目的室, 研修室(1), 研修室(2), 調理実習室, 和室(1), 和室(2)
みらい平コミュニティセンター	多目的室, 会議研修室(1), 会議研修室(2), 会議研修室(3), 調理室, 和室(1), 和室(2), 音楽スタジオ, 相談室

資料:管理日誌 平成27年度

【谷井田コミュニティセンターの状況】

開館日数	多目的室			研修室			調理室			和室(大)			和室(小)					
	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数			
4月	26	48	642	26	34	301	24	9	90	9	28	268	10	24	133	22		
5月	27	47	616	25	27	275	20	6	66	8	25	209	2	21	100	21		
6月	25	47	680	24	30	299	20	7	75	8	29	275	4	23	109	21		
7月	27	52	670	24	32	383	24	10	106	10	37	226	7	24	115	20		
8月	26	34	422	18	28	304	20	5	76	5	16	162	6	18	75	16		
9月	26	38	416	21	33	307	21	6	53	6	26	229	3	23	131	21		
10月	27	41	695	23	35	330	24	10	91	11	19	166	6	22	101	18		
11月	25	38	528	23	34	366	22	6	59	6	21	140	6	22	94	20		
12月	24	41	623	23	31	573	21	9	346	9	23	399	10	17	274	17		
1月	24	36	646	21	29	329	21	11	196	10	21	227	8	23	114	21		
2月	24	41	570	22	37	435	21	9	84	11	22	159	9	25	135	22		
3月	27	61	970	27	45	532	25	9	142	8	37	377	10	24	131	19		
計	308	524	7,458	277	395	4,434	263	97	1,384	97	306	2,837	81	266	1,512	238		
年間利用率				89.9%			85.4%			31.5%			26.3%			77.3%		
一回あたりの利用人数				14.2人			11.2人			14.3人			9.3人			5.7人		
一日あたりの利用団体数				1.9団体			1.5団体			1団体			3.8団体			1.1団体		

【小絹コミュニティセンターの状況】

開館日数	多目的室			会議室			和室(1)			和室(2)					
	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数			
4月	26	27	385	20	31	330	20	13	218	12	23	303	19		
5月	27	26	379	19	37	425	21	16	156	12	28	248	17		
6月	25	32	463	19	35	443	22	22	200	15	27	235	18		
7月	27	59	810	24	34	698	21	18	411	13	28	482	19		
8月	26	20	293	14	22	254	16	16	178	12	23	205	15		
9月	17	16	237	12	21	245	13	16	186	13	19	195	13		
10月	27	35	442	22	34	393	23	21	191	14	31	237	21		
11月	25	29	493	20	28	302	19	28	279	17	38	336	19		
12月	24	34	469	20	39	455	22	26	250	16	28	254	20		
1月	24	35	511	20	32	524	21	17	333	13	30	413	20		
2月	24	36	851	23	34	368	20	25	243	17	28	292	20		
3月	27	38	577	24	43	564	24	16	267	13	31	367	18		
計	299	367	5,930	237	390	5,001	242	234	2,912	167	334	3,567	219		
年間利用率				79.3%			80.9%			55.9%			73.2%		
一回あたりの利用人数				15.3人			12.8人			12.4人			10.7人		
一日あたりの利用団体数				1.8団体			1.6団体			1.4団体			1.5団体		

【板橋コミュニティセンターの状況】

開館日数	多目的室			研修室(1)			研修室(2)			調理実習室			和室(1)			和室(2)					
	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数			
4月	26	36	619	24	33	345	19	24	199	17	3	25	3	17	128	12	16	114	11		
5月	27	30	522	19	21	215	12	17	138	12	5	45	5	11	82	9	10	76	9		
6月	25	43	753	23	29	300	20	24	227	18	6	49	6	17	163	13	12	128	11		
7月	27	30	631	23	29	256	20	18	147	13	5	50	5	9	49	7	11	57	6		
8月	26	30	566	19	24	248	15	20	190	15	2	15	2	10	81	9	9	79	8		
9月	26	28	552	18	32	312	20	25	229	17	2	16	2	11	71	8	10	65	7		
10月	27	40	812	23	27	339	17	24	286	16	6	93	6	12	82	10	12	82	10		
11月	25	28	563	22	23	241	18	16	152	15	7	100	8	13	80	11	10	57	8		
12月	24	34	654	23	26	286	18	21	207	15	6	129	6	14	159	11	12	149	9		
1月	24	32	582	23	22	233	15	22	173	15	5	53	5	14	85	11	8	40	7		
2月	24	32	541	21	26	302	17	21	245	18	6	59	6	13	105	13	12	98	11		
3月	27	33	658	23	38	498	21	31	438	22	6	51	4	20	204	17	15	163	12		
計	308	396	7,453	261	328	3,575	212	263	2,631	191	59	685	58	161	1,289	131	137	1,108	111		
年間利用率				84.7%			68.8%			62.0%			18.8%			42.5%			36.0%		
一回あたりの利用人数				18.8人			10.9人			10人			11.6人			8人			8.1人		
一日あたりの利用団体数				1.5団体			1.5団体			1.4団体			1団体			1.2団体			1.2団体		

【みらい平コミュニティセンターの状況】

開館日数	多目的室			会議研修室(1)			会議研修室(2)			会議研修室(3)			調理室			和室(1)					
	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数			
4月	26	33	713	19	7	160	6	20	257	16	16	275	15	2	48	3	5	34	5		
5月	27	31	610	19	9	94	8	11	128	9	19	278	17	4	31	4	3	23	3		
6月	25	37	881	23	18	268	16	15	131	13	24	281	17	3	28	3	3	20	3		
7月	27	48	1,155	25	22	264	21	15	159	14	31	305	23	4	38	4	1	9	14		
8月	26	36	1,083	23	11	474	11	11	485	10	23	603	20	4	451	6	15	403	13		
9月	26	48	1,111	24	10	134	12	9	79	9	33	284	23	2	45	5	1	8	1		
10月	27	52	1,025	26	14	163	12	12	110	12	33	399	21	5	50	6	1	3	1		
11月	25	50	1,023	22	12	145	11	16	137	14	36	320	21	6	60	6	0	0	0		
12月	24	52	1,274	22	12	129	10	12	119	12	28	417	20	6	125	9	1	3	1		
1月	24	43	1,081	22	12	133	10	11	97	10	24	258	20	5	83	5	1	7	1		
2月	24	48	2,483	24	12	173	10	16	137	13	31	291	22	8	81	10	0	0	0		
3月	27	51	1,321	24	16	230	14	15	130	14	36	587	23	7	70	8	0	0	0		
計	308	529	13,740	273	155	2,367	141	164	1,949	146	334	4,298	242	58	1,110	68	31	510	42		
年間利用率				88.6%			45.6%			47.4%			76.6%			22.0%			13.6%		
一回あたりの利用人数				26人			15.3人			12.0人			12.9人			19.8人			16.5人		
一日あたりの利用団体数				1.9団体			1.1団体			1.1団体			1.4団体			0.9団体			0.7団体		

開館日数	和室(2)			音楽スタジオ			相談室					
	回数	人数	日数	回数	人数	日数	回数	人数	日数			
4月	26	10	49	11	26	58	20	4	21	4		
5月	27	10	50	10	26	46	20	4	14	4		
6月	25	12	62	11	15	43	14	7	37	7		
7月	27	4	25	14	29	60	22	11	55	10		
8月	26	16	405	14	25	82	18	10	77	9		
9月	26	9	50	9	18	32	13	8	23	8		
10月	27	3	14	3	34	71	21	15	76	14		
11月	25	1	6	1	33	75	20	12	40	10		
12月	24	0	0	0	34	67	20	10	56	12		
1月	24	1	5	1	28	61	19	5	22	6		
2月	24	2	11	2	23	47	16	12	47	10		
3月	27	2	12	2	33	75	22	11	240	8		
計	308	70	689	77	324	737	225	109	708	102		
年間利用率				25.0%			73.1%			33.1%		
一回あたりの利用人数				9.8人			2.3人			6.5人		
一日あたりの利用団体数				0.9団体			1.4団体			1.1団体		

※年間利用率 (利用された日数÷開館日)  
 ※1回あたりの利用人数 (利用人数÷利用回数)  
 ※1日あたりの利用団体数 (利用回数÷利用日数)

資料:管理日誌 平成27年度

### ③-3 図書館

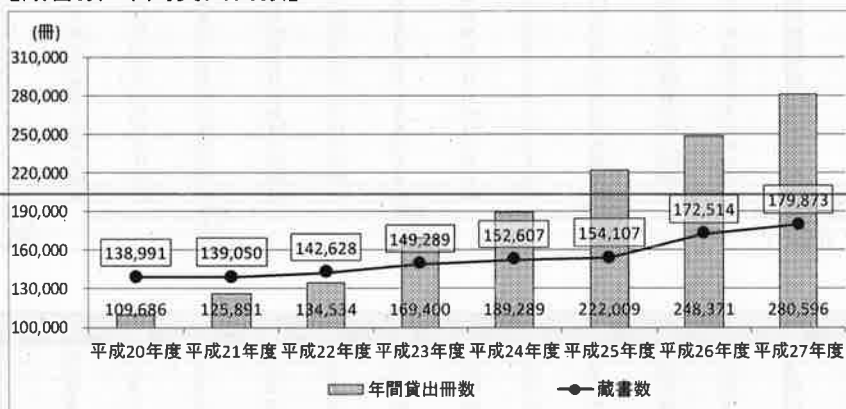
図書館は、市立図書館及び小絹分館に加えて、平成26年11月に開館したみらい平コミュニティセンター内に「みらい平分館」が開館されました。3つの図書館の蔵書数は約18万冊、年間貸出冊数は約28万冊、利用者約6.5万人となっています。平成20年度から平成27年度の8年間で蔵書数は約4.1万冊（約1.3倍）、年間貸出冊数は約17.1万冊（約2.6倍）増加しました。市民一人あたりの蔵書数は3.6冊、貸出冊数は約5.7冊となっています（市民一人あたりの蔵書数及び貸出数は住民基本台帳（平成27年度3月末現在）の人口により算出）。

また、図書館行事については、講演会や読書感想画展示などを行う「図書館まつり」やおはなし会、ブックスタート事業などを行っており、年間で約3.7千人（述べ参加者数）参加者数が参加しています。

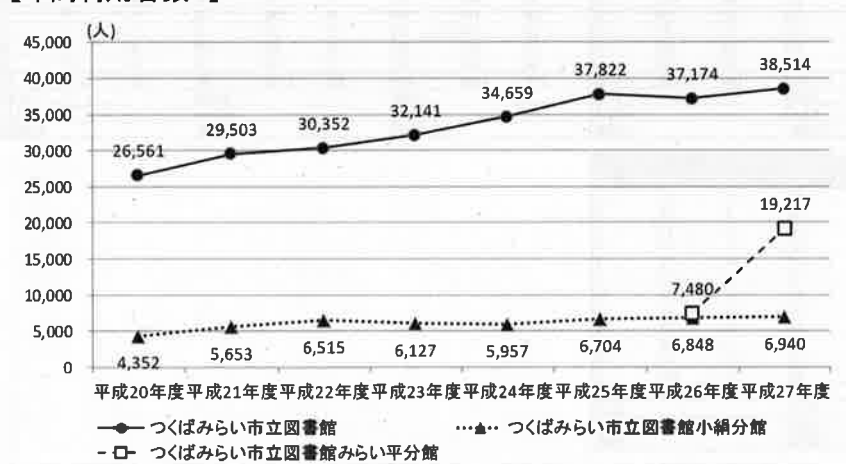
#### 【施設の状況（平成27年）】

	開館時間	利用者数 (人)	蔵書数 (冊)	年間貸出冊数 (冊)
つくばみらい市立図書館	10時-18時	38,514	140,039	172,621
つくばみらい市立図書館小絹分館	10時-18時	6,940	22,318	29,766
つくばみらい市立図書館みらい平分館	10時-18時	19,217	17,516	78,209

#### 【蔵書数・年間貸出冊数】



#### 【年間利用者数※】



※「利用者」とは来館者の中で貸し出し手続きを行った人のこと

資料：図書館要覧 平成21年～27年／図書館利用統計 平成27年

## 【行事の開催数と参加者】

行事名	開催(回/年)	延べ参加者(人)
中学生職場体験※	10	20
市内の小学校・幼稚園・保育所の図書館見学	12	531
夏休み映画会※	4	42
文学散歩	1	42
おはなし会※(合計)	39	532
0～2歳対象おはなし会	8	123
3～7歳対象おはなし会	31	409
夏休み本を読んでポイントカード	1	757
ブックスタート事業	12	523
朗読講座	1	24
大人のための折り紙体験講座	1	35
図書館まつり(合計)	1	1,239
図書貸し出し	1	396
読書感想画展示	1	234
除籍本の配布	1	361
ブックコート体験	1	26
科学あそび	1	78
絵本作家講演会	1	27
虹の会のおはなし会	1	39
ホットケーキおはなしの会	1	19
朗読の会「みらい教室」による朗読の発表	1	18
トリックアート工作会	1	41

日数を回数と読み替えている

資料:図書館利用統計 平成27年 ほか

#### ④スポーツ・レクリエーション活動

主なスポーツ行事・事業として、年に7つの行事を行っています。

「近隣中学校球技大会」は、1,867人が参加する行事となっており、その他「ドッチボール大会」や「なわとび大会」などを開催しています。

社会体育施設の設置状況については、「総合運動公園」や「城山運動公園」をはじめ、5つの施設があります。

利用人員で見ると、総合運動公園の体育館やテニスコート、桜公園テニスコートの利用が比較的多くなっています。

スポーツクラブみらい教室運営状況を見ると、平成25年以降増加傾向となっており、文化教室についても平成28年には3教室（「少年少女合唱団」、「うたのひろば」、「タイ語教室」）となっています。

#### 【体育関係審議会】

関係団体名	構成人数(人)	活動状況
スポーツ推進審議会	6	スポーツ推進に関する調査審議

#### 【主なスポーツ行事・事業】

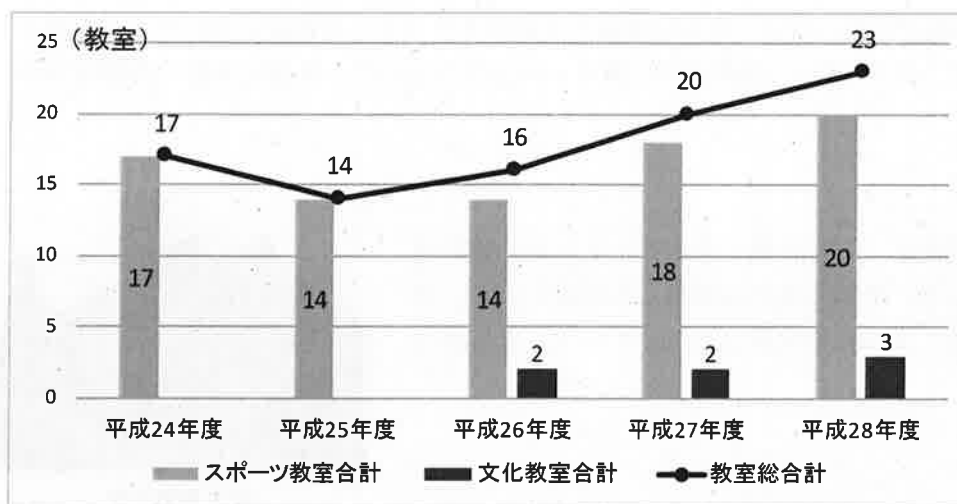
行事名	開催月(回/年)	述べ参加者(人)
近隣中学校球技大会	1	1,867
なわとび大会	1	243
ドッチボール大会	1	191
市民ウォークDAY	1	107
スポーツフェスティバル	1	※避難所設営のため中止
ニュースポーツ大会	2	169
出張相撲教室	16	1,317

#### 【社会体育施設の設置状況】

施設名	使用回数(回)	利用人員(人)
①総合運動公園		
体育館	1,158	23,994
武道場	100	1,826
卓球室	409	1,077
トレーニング室	1,234	1,545
野球場	78	2,876
テニスコート	1,270	9,612
ゲートボール場	—	—
多目的広場	91	2,899
青少年研修道場	335	7,339
②城山運動公園		
野球場	145	2,895
③桜公園テニスコート		
テニスコート	854	12,158
④古川テニスコート		
テニスコート	483	5,029
⑤谷和原武道館		
柔道場, 剣道場	224	4,189

資料:スポーツ推進室 平成27年度

## 【スポーツクラブみらい教室運営状況】



資料:スポーツ推進室 平成28年度

## ⑤文化施設

文化施設として、間宮林蔵記念館、結城三百石記念館の2館があります。文化財については、国指定の彫刻「木造不動明王及び二童子立像」、無形民俗「綱火」の2件のほか、県指定8件・市指定9件があります。

### <間宮林蔵記念館>

この地に生まれ育った探検家「間宮林蔵」を紹介するために顕彰事業の一つとして建設しました。全国各地から収集した資料のほか、現子孫宅に伝わる遺品、林蔵にまつわる史跡などを、テーマごとに展示しています。



間宮林蔵生家

### <結城三百石記念館>

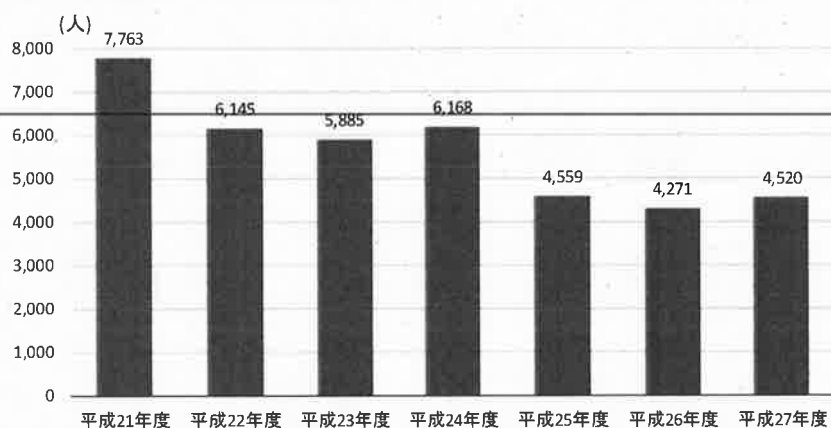
本市で「結城三百石」と称され地方開発の中心的役割を担った結城家の屋敷を保存活用し、市民利用施設として広く公開しています。敷地内では、四季折々の草花、野鳥、虫たちを見ることができ、館内には、当時の生活具をもとの場所にそのまま展示してあります。

また、史料収蔵庫に江戸時代初期からの文書類を5,000点以上保管しており、その一部を展示公開しています。

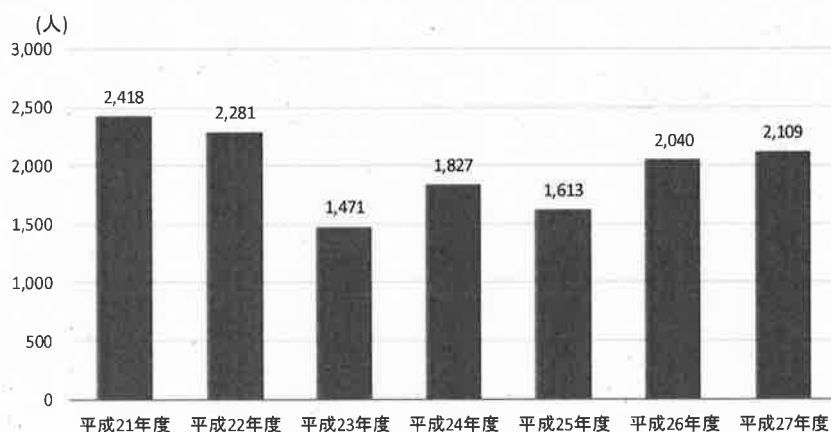


結城三百石記念館

### 【間宮林蔵記念館 来館者数】



### 【結城三百石記念館 来館者数】



資料:生涯学習課 月間集計表



## 【指定文化財一覧】

指定区分	種別	名称	指定年月日	所在地	管理者	
国指定	彫刻	木造不動明王及び二童子立像	大正4年8月10日	板橋	不動院	
	無形民俗	綱火	小張松下流	昭和51年5月4日	小張	小張松下流綱火保存会
		高岡流	昭和51年5月4日	高岡	高岡流綱火更進団	
県指定	史跡	間宮林蔵の生家	昭和30年11月25日	上平柳	つくばみらい市	
	史跡	間宮林蔵の墓	昭和30年11月25日	上平柳	間宮正孝	
	建造物	不動院三重塔	昭和35年12月13日	板橋	不動院	
	無形民俗	西丸山祈禱ばやし	昭和38年8月23日	西丸山地区	西丸山祈禱囃子保存会	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	昭和40年2月24日	小張	善空寺	
	建造物	不動院本堂	昭和40年2月24日	板橋	不動院	
	建造物	不動院楼門	昭和49年11月25日	板橋	不動院	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像及脇侍像	平成12年11月27日	福岡台入会地	大楽寺	
市指定	歴史資料	間宮林蔵関係資料	平成4年3月3日	上平柳	間宮正孝	
	彫刻	木造薬師如来坐像	平成7年6月1日	福岡台入会地	大楽寺	
	彫刻	木造千手観自在菩薩立像 附胎内仏十一面観音像	平成12年3月31日	東栗山	千手院	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	平成12年3月31日	豊体	浄円寺	
	彫刻	木造十一面観音立像	平成13年3月27日	福岡台入会地	大楽寺	
	史跡	鉄火塚	平成13年3月27日	宮戸	つくばみらい市	
	考古資料	山水双鳥鏡	平成20年12月1日	前田村遺跡より出土	つくばみらい市	
	彫刻	銅造不動明王立像	平成20年12月1日	足高	つくばみらい市	
	彫刻	仁王尊像 阿形 吽形	平成25年1月22日	板橋	不動院	

資料:生涯学習課



綱火(高岡流)



綱火(小張松下流)



不動院楼門

## ⑥文化事業・生涯学習事業

文化事業について見ると、文化施設の利用者数・来場者数、文化協会加入団体数が減少傾向にあります。生涯学習事業については、4つの事業で述べ参加者数が約900人となっています。

### 【文化事業】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
文化祭参加者数(人)	—	—	2,500	2,500	3,000	2,500
文化施設利用者・来場者(人)	8,426	7,356	7,995	6,172	6,311	6,629
文化協会加入団体(団体)	80	81	73	72	68	68

資料:文化協会データ・月間集計表

### 【生涯学習事業】

行事名	開催(回/年)	述べ参加者(人)
わくわくチャレンジ講座	20	525
親子対象講座	16	160
成人者対象講座	2	16
人権講演会事業	1	214

資料:生涯学習課

### 【放課後子ども総合プラン事業】

	実施日	登録者数(人)
放課後児童クラブ	月曜日～土曜日	455
放課後子ども教室	週1回	297

資料:生涯学習課

【生涯学習施設配置図】



### 3. アンケート調査結果の概要

#### (1) アンケート調査概要

①調査対象者		
・市立小学校2, 4, 6年生の児童の保護者全員	1,087人	
・市立中学校1, 3年生の生徒の保護者全員	566人	
※そのほかに無回答13票, 不明2票を含む。		
②調査方法		
各学校を通じ配布・回収		
③調査期間		
平成27年10月13日(火)～10月19日(月)の7日間		
④配布・回収状況		
配布数: 2,047票 / 回収数: 1,668票 / 回収率: 81.5%		

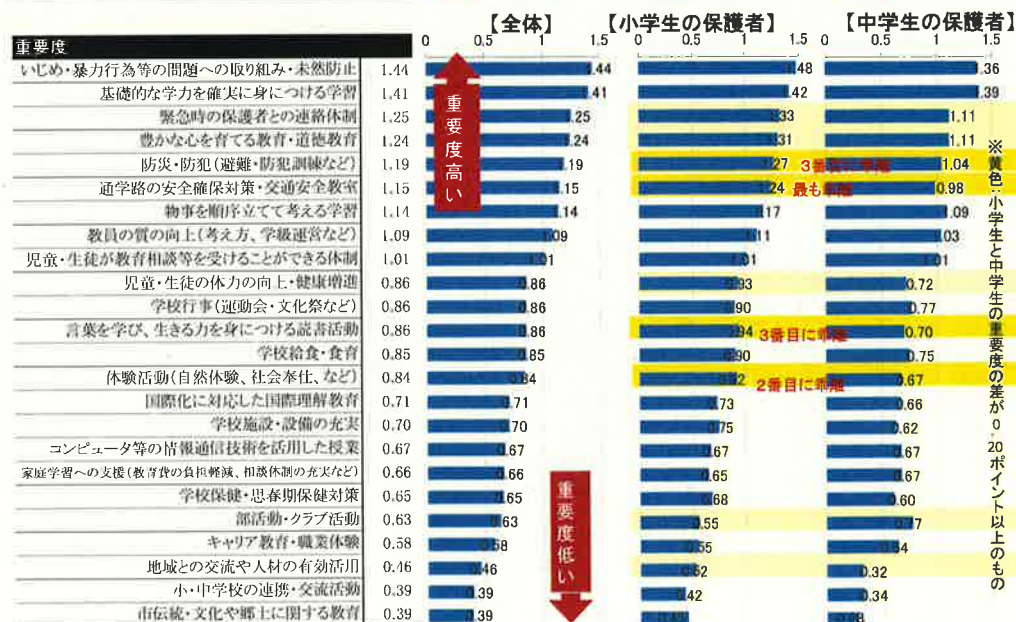
#### (2) 学校教育についてのアンケート調査結果概要

##### ①学校教育における満足度・重要度

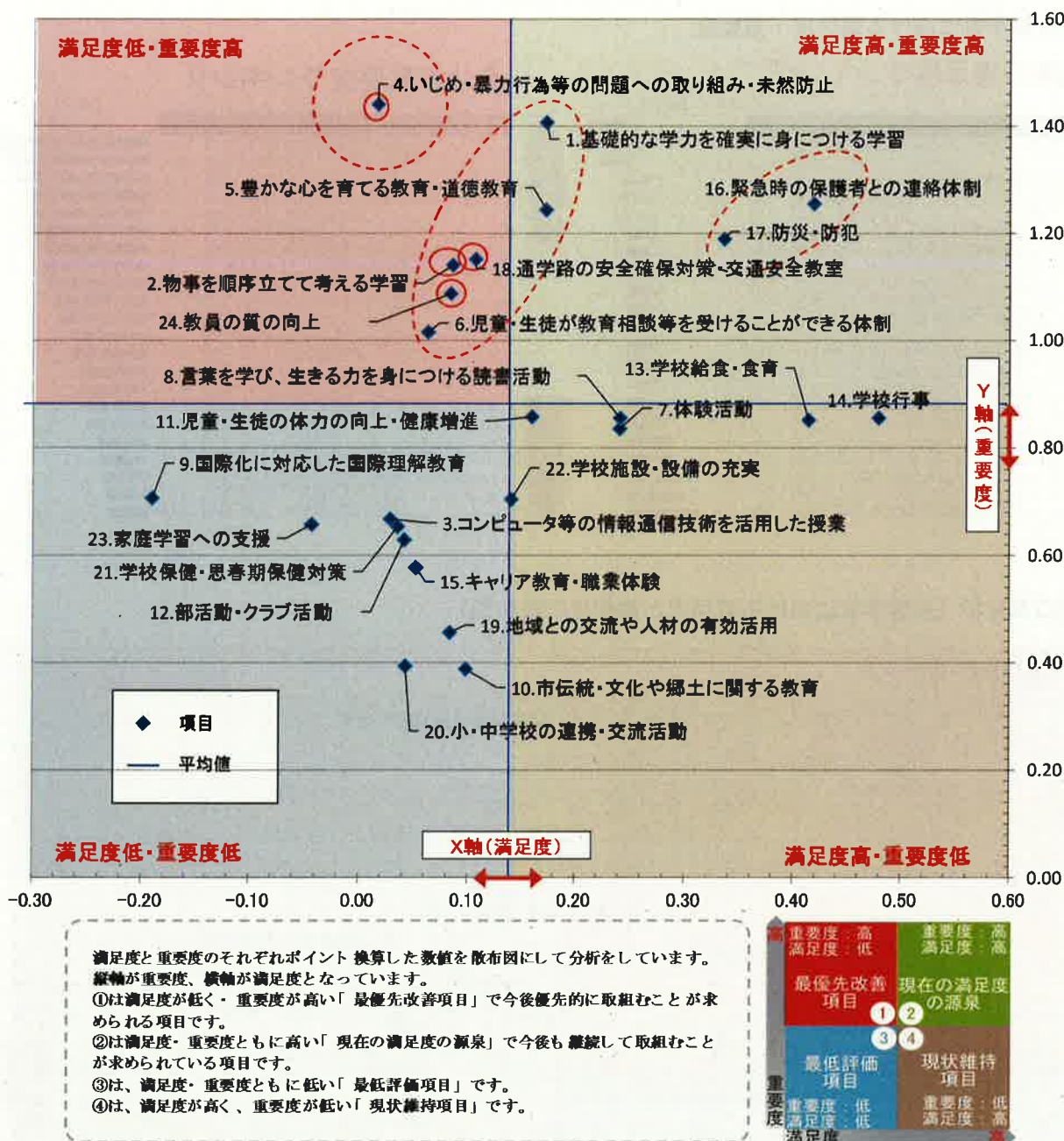
満足度ランキング



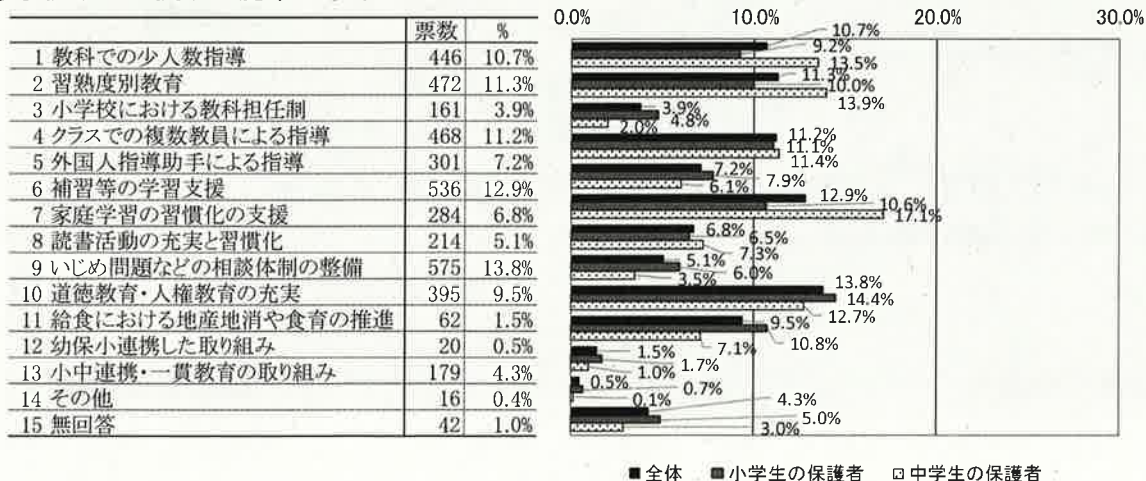
重要度ランキング



②CS分析（学校教育における満足度と重要度の散布図）



③学校教育に関する施策・事業について



※CS分析(CSポートフォリオ分析)：項目別満足度と総合満足度から、重点改善領域を抽出する分析手法のこと（顧客満足度 Consumer Satisfactionの略）。

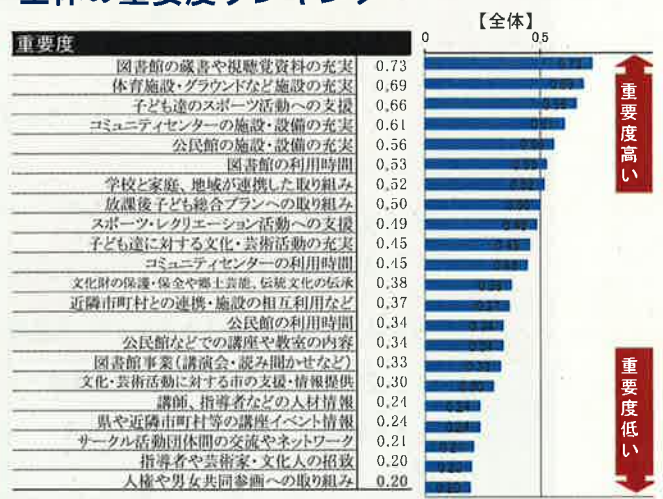
### (3) 生涯学習についてのアンケート調査結果の概要

#### ①生涯学習における満足度・重要度

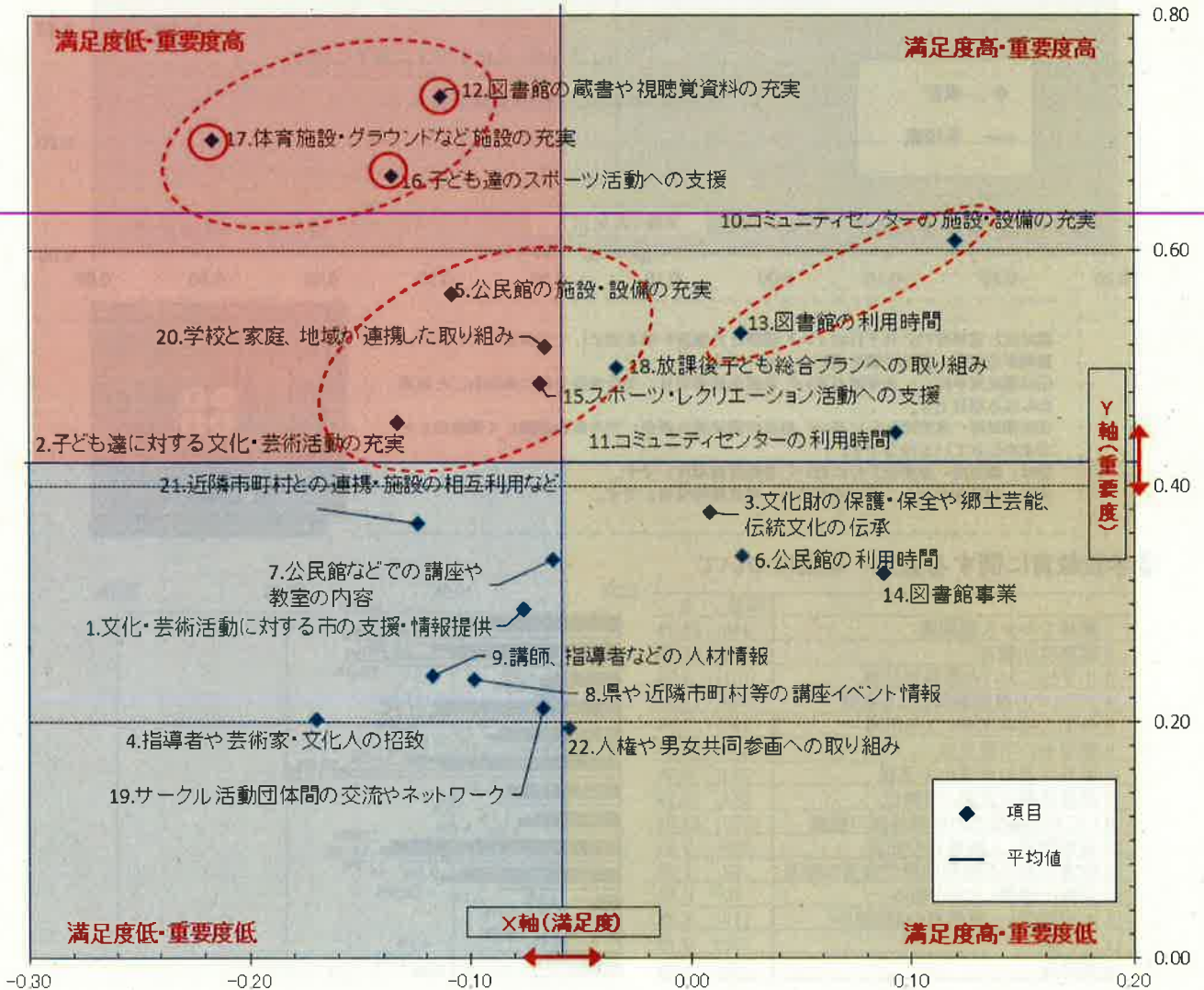
##### 全体の満足度ランキング



##### 全体の重要度ランキング



#### ②CS分析(生涯学習における満足度と重要度の散布図)



## 4. 団体ヒアリング結果の概要

### (1) 団体ヒアリングの実施概要

#### ①対象団体

ヒアリングの対象は、各グループは7～8人程度で構成し、学校教育に関する団体を3グループ、生涯学習に関する団体を2グループ、学校教育及び生涯学習に関する団体を1グループの計6グループで実施しました。

- ・学校教育に関する団体
  - グループ①：小中学校長（小学校6校/11校・中学校2校/4校）伊奈地区
  - グループ②：小中学校長（小学校5校/11校・中学校2校/4校）谷和原地区
  - グループ③：小中学校養護教諭，栄養教諭・職員，生徒指導教諭，特別支援関連
- ・生涯学習に関する団体
  - グループ④：社会教育関連代表者，図書館・公民館・コミュニティセンター利用団体
  - グループ⑤：体育協会，スポーツ少年団，スポーツ推進委員
- ・学校教育・生涯学習に関する団体
  - グループ⑥：小中学校PTA連合会，子ども会，青少年育成市民会議

#### ②ヒアリング内容

##### ②-1 学校教育

- ・つくばみらい市の学校教育の課題について
- ・学校教育において重点的に取り組むべきことについて

##### ②-2 生涯学習

- ・つくばみらい市の生涯学習の課題・活動の方向性について
- ・生涯学習において重点的に取り組むべきことについて

#### ③実施期間

- ・開催日時：平成27年12月16日（水）と12月17日（木）の2日間
- ・開催場所：つくばみらい市伊奈庁舎（教育委員会庁舎2階会議室）

### (2) 学校教育に関するヒアリング結果の概要

#### ①教育内容

- ・地域の資源を活かした教育活動（郷土教育の中で自然や歴史について学ぶなど）
- ・教育の目玉となる取組（学校図書館と市立図書館のネットワーク化など）
- ・ベースとなる豊かな心を育てる教育
- ・学校における国際理解教育への取組
- ・表現力・コミュニケーション力を高める教育
- ・読書活動・図書館教育の充実
- ・ALT(外国語指導助手)の増員（1校につき1名）
- ・学力の個人差の解消（二極化）

#### ②教育の設備や支援員等の配備

- ・タブレットやPCの配備や無線LANなどの整備，ICTスタッフの配置
- ・TT（ティームティーチング）の増員（特に複式学級では朝から夕方配置）
- ・発達障害の児童の増加に伴う特別支援教育の体制の充実（質・量の向上）
- ・児童や保護者のニーズに対応したカウンセリング頻度の増加（月1回から週1回に）
- ・人材バンクによる地域の人材の活用

### ③教育環境

- ・通学路の整備や市バスを有効活用した遠距離通学の解消
- ・既存校への新しい教育機材の配備やTT（ティームティーチング）加配
- ・幼児期から様々な分野が連携して切れ目のない支援や取組
- ・一貫した指導・支援のための教育センターのような機能や場の設置
- ・生徒数の減少により部活動が成り立たない（希望の部活動ができない）
- ・保健室への来室，不登校に対して学校だけではなく医療や福祉など専門機関との連携
- ・教育環境の格差の解消（地域の人口や学校規模に関係なく市全体として平等な教育が受けられること）

### ④教育体制

- ・教員の勤務時間の適正化（勤務負担の軽減）
- ・英語教育の強化としての教員の研修実施
- ・食育に関する授業の充実や関係する職員の体制確保

## （3）生涯学習に関するヒアリング結果の概要

### ①施設利用

- ・施設への移動手段としての公共交通機関の充実
- ・利用しやすい，管理しやすいシステムの検討
- ・イベントなどを知らせるための広報の活用
- ・気軽に相談できる窓口の開設（サークルの立上げや既存団体との関係など）
- ・施設利用に関する地域格差が生じている
- ・各団体が連携して市全体で考える誰もが参加しやすい講座の開催

### ②施設の設備など

- ・安全な施設の整備（施設の老朽化対策）
- ・利用しやすい施設整備（駐車場やトイレの整備など）
- ・空き校舎の活用による施設の遠距離化の解消

### ③個別の課題

#### ③-1 公民館・コミュニティセンターなど

- ・利用する団体や集まりの偏り，利用者が高齢化
- ・多くの市民，若者を巻き込む講座やイベントの開催
- ・団体間の連携による社会教育委員会の活性化（新規会員の獲得）
- ・新住民と旧住民の融合

#### ③-2 文化協会・体育協会等

- ・文化協会のメンバーの高齢化が進んでいるため，若者の加入が必要
- ・文化財の案内板や文化財へ誘導する標識が必要
- ・スポーツ少年団等の指導者の質の向上と若い指導者の確保
- ・スポーツ振興基金の設立の検討

#### ③-3 子ども会・PTA

- ・子ども会の活動もできない地域がある（地域によって子どもの数にバラつきがある）
- ・PTA活動の役員の固定化



## 5. 策定経緯

日時	会議等	内容
<b>平成 27 年度</b>		
10月5日(月)	第1回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定方針について</li> <li>・現況整理について</li> <li>・「つくばみらい市教育振興基本計画」に係るアンケート調査について</li> </ul>
10月13日(火) ～19日(月)	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小中学校に通学している小学校2, 4, 6年生の児童と中学校1, 3年生の生徒の保護者全員</li> <li>・配付数: 2,047 票/回収数: 1,668 票 (回収率 81.5%)</li> </ul>
12月16日(水) 17日(木)	団体ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育, 生涯学習, 学校教育・生涯学習に関する団体の計6グループ</li> </ul>
2月1日(月)	第2回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前提条件の整理について</li> <li>・アンケート調査結果について</li> <li>・ヒアリング調査結果について</li> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画に係る課題及び取組の方向について</li> <li>・つくばみらい市教育大綱の策定について</li> </ul>
2月17日(水)	第1回 検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定スケジュールについて</li> <li>・今後の課題と取組方向(案)について</li> </ul>
2月25日(木)	第1回 総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市総合教育会議運営要綱(案)について</li> <li>・つくばみらい市教育大綱について</li> <li>・つくばみらい市総合教育会議の開催予定(案)について</li> </ul>
3月2日(水) ～18日(金)	「つくばみらい市の教育における課題と今後取組方向」に係る施策・事業等調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討部会の委員への調査</li> </ul>
<b>平成 28 年度</b>		
5月10日(火)	第2回 検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的方向(案)(基本理念・基本目標・重点施策・施策の体系)について</li> <li>・施策の展開の施策原案作成スケジュールについて</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
5月19日(木)	第3回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的方向(案)(基本理念・基本目標・重点施策・施策の体系)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
6月13日(月)	第2回 総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育大綱について</li> </ul>
6月22日(水) ～	つくばみらい市教育大綱に関するパブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育大綱</li> <li>6月22日(水)～7月21日(木)の1ヶ月間</li> </ul>
6月20日(月) ～	施策の展開の確認(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討部会の委員への調査</li> <li>6月20日(月)～7月11日(月)</li> </ul>
8月8日(月)	第3回 総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育大綱について</li> </ul>

日 時	会議等	内 容
10月17日(月)	第3回 検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的方向・施策の展開(案)</li> <li>・施策の展開(案)について</li> <li>・目標指標等について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
10月25日(火)	つくばみらい市教育大綱の全戸配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスティングによる全戸配布(2,000世帯)</li> </ul>
11月16日(水)	第4回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的方向・施策の展開(案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
12月末	事業及び指標値の精査 (担当者へのヒアリング等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業及び指標値内容の精査</li> </ul>
1月25日(水)	第5回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画(素案)について</li> </ul>
2月1日(水) ～3月2日(木)	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画(素案)</li> </ul>
2月22日(水)	議会報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画(素案)</li> </ul>
3月17日(金)	第6回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント結果について</li> <li>・教育振興基本計画(案)について</li> </ul>

## 6. つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

つくばみらい市教育委員会告示第11号

つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会設置要綱を次のように定める。

平成27年10月1日

つくばみらい市教育委員会

つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 つくばみらい市教育振興基本計画(以下「基本計画」という。)の策定を円滑に行うため、つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、つくばみらい市教育委員会の指示及び助言の下に、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 基本計画の策定に関する協議及び調整に関すること。
- (2) 基本計画の原案の作成に関すること。
- (3) 基本計画に係る資料の収集及び作成に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長、副委員長及び委員は、次に掲げる職にある者をもって充てる。

- (1) 委員長 教育長
- (2) 副委員長 教育部長
- (3) 委員 市長公室長、総務部長、市民経済部長、保健福祉部長、都市建設部長、生涯学習課長、教育指導室長、市校長会長

3 委員長は、策定委員会の会務を総理し、策定委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 策定委員会の会議は、委員長が召集する。

2 委員長は、適当と認めるときは、会議に出席することを要する委員を限定して会議を招集することができる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(検討部会の設置)

第5条 策定委員会は、基本計画の策定に関する事項について調査及び検討を行うため、補助組織としてつくばみらい市教育振興基本計画検討部会(以下「検討部会」という。)を置くことができる。

(検討部会の所掌事務)

第6条 検討部会は、策定委員会の指示及び助言の下に、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 基本計画の策定に関し必要な事項の調査及び検討に関すること。
- (2) 基本計画の素案の作成に関すること。
- (3) 基本計画に係る資料の収集及び作成に関すること。

2 検討部会の部会長は、前項の規定による所掌事項の実施の状況及び結果に関し、随時、策定委員会の委員長に報告するものとする。

(検討部会の組織)

第7条 検討部会は、部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。

2 部会長、副部会長及び部会員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 部会長 学校教育課長
- (2) 副部会長 教育指導室長及び生涯学習課長
- (3) 部会員 別表に掲げる課等に所属する職員の中から、所属長が推薦し、策定委員会の委員長が承認する者

3 部会長は、検討部会の会務を総理し、検討部会を代表する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(検討部会の会議)

第8条 検討部会の会議は、部会長が招集する。

2 部会長は、適当と認めるときは、会議に出席することを要する部会員を限定して会議を招集することができる。

3 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を検討部会に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第9条 策定委員会及び検討部会に関する庶務は、学校教育課において処理する。

(補則)

第10条 この告示に定めるもののほか、策定委員会及び検討部会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

別表 (第7条関係)

政策秘書課	安心安全課	社会福祉課	こども福祉課	健康増進課	建設課	学校教育課
教育指導室	学校給食センター	市立幼稚園	市立小中学校	生涯学習課	公民館	スポーツ推進室
図書館						

## 7. つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会委員名簿

氏名	職名	備考
石塚 眞典	教育長	委員長
井波 進	教育部長	副委員長
石神 栄	市長公室長	
木村 明夫	総務部長	
中山 和広	市民経済部長	
斉藤 一	保健福祉部長	
間根山 知己	都市建設部長	平成 27 年度
奈幡 優	都市建設部長	平成 28 年度
石塚 武彦	教育指導室長	平成 27 年度
長塚 和徳	教育指導室長	平成 28 年度
木川 眞	生涯学習課長	
秋田 昌彦	市校長会長 伊奈中学校 校長	平成 27 年度
直井 光一	市校長会長 伊奈東中学校 校長	平成 28 年度

実施年度	実施機関	実施内容
平成29年度	つくばみらい市	教育振興費
平成30年度	つくばみらい市	教育振興費
平成31年度	つくばみらい市	教育振興費
令和元年度	つくばみらい市	教育振興費
令和2年度	つくばみらい市	教育振興費
令和3年度	つくばみらい市	教育振興費
令和4年度	つくばみらい市	教育振興費
令和5年度	つくばみらい市	教育振興費
令和6年度	つくばみらい市	教育振興費
令和7年度	つくばみらい市	教育振興費
令和8年度	つくばみらい市	教育振興費
令和9年度	つくばみらい市	教育振興費
令和10年度	つくばみらい市	教育振興費
令和11年度	つくばみらい市	教育振興費
令和12年度	つくばみらい市	教育振興費
令和13年度	つくばみらい市	教育振興費
令和14年度	つくばみらい市	教育振興費
令和15年度	つくばみらい市	教育振興費
令和16年度	つくばみらい市	教育振興費
令和17年度	つくばみらい市	教育振興費
令和18年度	つくばみらい市	教育振興費
令和19年度	つくばみらい市	教育振興費
令和20年度	つくばみらい市	教育振興費
令和21年度	つくばみらい市	教育振興費
令和22年度	つくばみらい市	教育振興費
令和23年度	つくばみらい市	教育振興費
令和24年度	つくばみらい市	教育振興費
令和25年度	つくばみらい市	教育振興費
令和26年度	つくばみらい市	教育振興費
令和27年度	つくばみらい市	教育振興費
令和28年度	つくばみらい市	教育振興費
令和29年度	つくばみらい市	教育振興費
令和30年度	つくばみらい市	教育振興費
令和31年度	つくばみらい市	教育振興費
令和32年度	つくばみらい市	教育振興費
令和33年度	つくばみらい市	教育振興費
令和34年度	つくばみらい市	教育振興費
令和35年度	つくばみらい市	教育振興費
令和36年度	つくばみらい市	教育振興費
令和37年度	つくばみらい市	教育振興費
令和38年度	つくばみらい市	教育振興費
令和39年度	つくばみらい市	教育振興費
令和40年度	つくばみらい市	教育振興費
令和41年度	つくばみらい市	教育振興費
令和42年度	つくばみらい市	教育振興費
令和43年度	つくばみらい市	教育振興費
令和44年度	つくばみらい市	教育振興費
令和45年度	つくばみらい市	教育振興費
令和46年度	つくばみらい市	教育振興費
令和47年度	つくばみらい市	教育振興費
令和48年度	つくばみらい市	教育振興費
令和49年度	つくばみらい市	教育振興費
令和50年度	つくばみらい市	教育振興費



つくばみらい市教育振興基本計画 【平成29年3月】

発行：つくばみらい市教育委員会  
 〒300-2395 茨城県つくばみらい市福田195番地  
 電話：0297(58)2111(代表)  
 市ホームページ：http://www.city.tsukubamirai.lg.jp